

^{デジタルー眼カメラ} **PENTAX Q7** 使用説明書



基礎知識	1
準備	2
撮影	3
再生	4
設定	5
付録	6

カメラの正しい操作のために、ご使用前に 必ずこの使用説明書をご覧ください。



同梱品を確認しましょう



PENTAX Q7で使用できるレンズ

本機で使用できるレンズは、Qマウントレンズです。別売のKマウントレンズ用アダプター Qを利用すると、Kマウントレンズ も取り付けることができます。(p.73)

1	PENTAX Q7の基礎知識
2	準備 しましょう
3	いろいろな写真を 撮影 してみましょう
4	いろいろな 再生 と編集
5	設定 を変更する
6	

本書の使い方

DENTAY 07の其

PENTAX Q7の全体像を紹介しています。 まずここを読んでQ7を知ろう!

🗌 各部の名称と機能	p.7
□ 機能の設定方法	p.13
□ メニュー一覧	p.15

2

21
説
21
22
24
25
27
28

3

いろいろな写真を撮影してみましょう ..p.29

カメラが正しく動作することが確認できたら、 たくさん写真を撮ってみよう!

- 🗌 露出を設定するp.33
- 🗌 フラッシュを使うp.34

- 🗌 記録形式を設定するp.43



□ 再生モードパレットの言	设定項目p.50
🗌 再生方法を変更する	p.51
□ パソコンと接続する	p.55
🗌 画像を加工・編集する	p.56

5

設定を変更する......p.62 その他の設定変更を掲載しています。

\square	カメラの設定	p.62
П	画像管理に関する設定	p.65

6
付録 p.69
資料を掲載しています。
] 撮影モードの機能制限p.69
] 各種レンズ使用時の機能p.72
] 外付けフラッシュ利用時の機能
] 困ったときはp.75
] 主な仕様p.78
]索引p.84
] ご注意くださいp.88
] 取り扱い上の注意p.89
] アフターサービスについてp.92

目次

本書の使い方2
PENTAX Q7 の基礎知識7
各部の名称と機能7
ボタン・ダイヤルの機能8
画像モニターの表示9
機能の設定方法13
ダイレクトキーで設定する13
コントロールパネルで設定する13
メニューで設定する14
メニュー一覧15
撮影メニュー15
動画メニュー
円生メニュー
詳柑設にメニュー 18
///////////////////////////////////////
準備しましょう 21
レンズの取り付け21
バッテリーのセット
バッテリーを充電する
バッテリーを入れる
ACアダプターを使用する
メモリーカードのセット24
初期設定
電源を入れる
言語を設定する
日時を設定する 26

歯影のキホン	
画像の確認	28
いろいろな写真を撮影してみまし。	ょう29
撮影モードを選ぶ	29
シーンモード	
ボケコントロールモード	30
露出モード	
動画モード	32
露出を設定する	
ISO感度	
測光方式	
フラッシュを使う	
ピントを合わせる	
フォーカスモード	
オートフォーカスの方法を設定	
マニュアルでピントを調整(マニュアルフォ	+ーカス)
ドライブモードを設定する	
連続撮影	
セルフタイマー撮影	
リモコン撮影	

露出ブラケット41 多重露出41 インターバル撮影42

記録形式を設定する	43
静止画	43
動画	43
色味と明るさを設定する	43
ホワイトバランス	43
明るさを補正して撮影	45
仕上がりイメージを決めて撮影する	46
カスタムイメージ	46
	47
よく使う機能をクイックタイヤルに登録	48
いろいろな再牛と編集	50
冉生モードバレットの設定項目	50
再生方法を変更する	51
複数画像を表示	51
ノオルターごとに表示	52
摘ぎ日にてして広	
海続して再生 (フライドショウ)	52
連続して再生(スライドショウ)	52 53
連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示	52 53 53 54
連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 パソコンと接続する	52 53 53 54 55
連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 パソコンと接続する 画像を加工・編集する	52 53 53 54 55 56
 連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 パソコンと接続する 画像を加工・編集する 画像のサイズを変更 	52 53 53 54 55 56 .56
 連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 パソコンと接続する 画像を加工・編集する 画像のサイズを変更 赤目を補正 	
 連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 パソコンと接続する 画像を加工・編集する 画像のサイズを変更 赤目を補正 デジタルフィルターで加工 	
 連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 パソコンと接続する 画像を加工・編集する 画像のサイズを変更 赤目を補正 デジタルフィルターで加工 複数画像を貼り付け(インデックス) 	
 連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 パソコンと接続する 画像を加工・編集する 画像のサイズを変更 赤目を補正 デジタルフィルターで加工 複数画像を貼り付け(インデックス) 動画の編集 	52 53 53 54 54 55 56 56 57 57 57 58 59
連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 	52 53 53 53 54 55 56 56 57 57 57 57 58 59 60
 連続して再生(スライドショウ) 画像を回転して表示 AV機器と接続 パソコンと接続する 画像を加工・編集する 画像のサイズを変更 赤目を補正 デジタルフィルターで加工 複数画像を貼り付け(インデックス) 動画の編集 RAW展開 設定を変更する 	52 53 53 54 55 56 56 57 57 57 57 58 59 60 62

お気に入り画像の設定を登録	63
目的地の日時を表示	64
カメラに保存する設定を選択	65
画像管理に関する設定	65
画像を消去できないようにする(プロテクト).	65
フォルダー/ファイル No .の設定	
画像を無線LANで転送	67
印刷情報を設定(DPOF)	68
/	
竹錸	69
撮影モードの機能制限	
特殊機能の組み合わせ制限	71
各種レンズ使用時の機能	72
Κマウントレンズを利用する	73
外付けフラッシュ利用時の機能	74
困ったときは	75
エラーメッセージ	76
主な仕様	78
USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	
索引	84
ご注意ください	
取り扱い上の注意	
アフターサービスについて	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

目次

1

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほ かは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。な お、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的 があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注 意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作 権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただ けませんのでご注意ください。

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。 付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

各部の名称と機能



ボタン・ダイヤルの機能





① 電子ダイヤル (●)

シャッター速度/絞り値/露出補正値を設定します。 (p.31)_____

コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り 替えます。(p.13)

メニューが表示されているときは、タブを切り替えます。 (p.14)

再生時には、画像を拡大/複数画像表示します。(p.51)

- 2 モードダイヤル 撮影モードを切り替えます。(p.27)
- ③ シャッターボタン 画像を撮影します。(p.28) 再生時は、半押しで撮影モードに切り替わります。
- ④ クイックダイヤル お好みの撮影設定を登録し、簡単に呼び出すことができます。(p.48)
- 5 レンズ取り外しボタン
 レンズを取り外すときに押します。(p.21)
- ⑥ 再生ボタン(▶) 再生モードに切り替えます。(p.28)もう一度押すと撮影 モードに切り替わります。
- ⑦ フラッシュポップアップレバー
 内蔵フラッシュをポップアップします。(p.35)
- 8 電源ボタン
 電源のON/OFFをします。(p.25)
- 9 露出補正ボタン(図)

露出補正値や絞り値を変更するときに押します。(p.31) 再生時は、撮影バッファに残っているJPEG形式の画像を RAW形式で追加保存します。(p.28)

- ⑩ グリーン/消去ボタン (○/面) 設定中の値をリセットします。機能を割り当てて使用する こともできます。(p.62) 再生時は、画像を消去します。(p.28)
- 11 OKボタン(🚳)

コントロールパネル/メニューが表示されているときに、 選択した項目を決定します。

12 十字キー (▲▼◀▶)

ISO感度/ホワイトバランス/フラッシュモード/ドライ ブモードの設定画面を呼び出します。(p.13) コントロールパネル/メニューが表示されているときは、 カーソルの位置や項目を変更します。 再生時に▼を押すと、再生モードパレットを表示します。 (0.50)

13 MENUボタン (MEND)

メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の 画面に戻ります。(p.14)

14 INFOボタン(NEO)

画像モニターの表示を切り替えます。(p.9、p.11)

画像モニターの表示

撮影時

撮影時には、画像と撮影機能の設定値が表示されます。この状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で(MFO)を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。 (p.13) コントロールパネル表示中に(MFO)を押すと、撮影待機状態の表示を変更できます。(p.11)





基礎知識

撮影待機状態

1

基礎

知

識

12- 13- 14- 15-	1 2 3 4 5 6 7 8 9 1011 E 1 7 7 8 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	16 17 18 19 20 3	29
1	撮影モード(p.29)	14	Eye-Fi通信状態
2	フラッシュモード	15	ヒストグラム
	(p.34)	16	電子水準器(左右方向)
3	ドライブモード(p.38)	17	電子水準器(前後方向)
4	ホワイトバランス	18	AFフレーム
_	(p.43)	19	リセット操作ガイド
5	カスタムイメージ	20	インターバル撮影/多重
•	(p.46)		露出 (p.41) / スマート
6	HDR 撮影(p.45) / テ		エフェクト (p.49)
	シタルノイルター	21	AEロック シューック 声音
7	(p.47) MET 1	22	ンヤック一述反
8		24	取り値 露虫バー
9	記録//□式 測光方式 (n 34)	25	路山八 ISO咸庄(n 33)
10	Shake Reduction /	26	NDフィルター
	Movie SR	27	メモリーカード
11	バッテリー残量	28	撮影可能枚数
12	MFモードピントリング	29	AF方式「顔検出」の顔
	操作中(p.37)		検出枠(p.36)
13	温度警告		

ØXŦ

- カメラの設定状況によって、表示される項目が異なります。
- ●3メニュー「ライブビュー」で、撮影待機状態で表示する内 容が変更できます。(p.16)

コントロールパネル



カスタムイメージ 鮮やか					
	0160 _	(055	HDR	(jim	<u>A</u> ún
	\odot	ND of #	AF	OTUM	
	O N	4:3	JPEG	LA	
+2013/05/05 10:30AM ∐99999					

		1 2			
	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17
2	21	22		23	3 24

∷= モード

露出設定 プログラム自動露出					
Í		-	(054	(Birr	Am
	0		AF	onu	
	юк	FAILHD	30.05	₽¦s	
+	+2013/05/05 10:30AM Ľ99:59'59"				

		1 2			
	18	3	4	6	7
	8	9	10	11	12
	13	16	19	20	17
2	21	22		23	24

- 機能名称
- 2 設定
- 3 カスタムイメージ (p.46) / SCNモード (p.29)
- 4 デジタルフィルター (p.47)
- 5 HDR撮影 (p.45)
- 6 ハイライト補正 (p.45)
- 7 シャドー補正 (p.45)
- 8 測光方式(p.34)
- 9 NDフィルター

- 10 フォーカスモード (p.36)
- **11** AF方式 (p.36)
- 12 フォーカスアシスト (p.38)
- 13 ディストーション補正
- 14 アスペクト比 (p.43)
- 15 記録形式 (p.43)
- **16** JPEG記録サイズ・画質 (p.43) /動画記録サイ ズ (p.43)

- 17 Shake Reduction / Movie SR
- 18 霞出設定
- 19 フレームレート
- 20 録音レベル

ØXE

カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。

21 目的地 (p.64)

23 メモリーカード

24 撮影可能枚数/記録可能

22 現在の日時

時間

- コントロールパネルは何も操作しないと、1分で撮影待機状 能に戻ります。
- ・ <1 メニュー「画面表示」でコントロールパネルとメニュー の配色が変更できます。(p 18)

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に MFO を押すと、撮影待機状態の表 示情報が選択できます。◀▶で選択して∞を押します。

標準情報表示	画像と撮影機能の設定値を表示
情報表示なし	画像だけを表示
画像モニターオフ	画像モニターを非表示

の注意

再生時

再牛モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示 されます。

(Ⅲ)を押すと、1画像表示中の表示情報が選択できます。 ◀▶ で選択して配を押します。

INFO





(標進情報表示)

再生情報表示選択

標準情報表示	画像・記録形式・露出値・操作ガイドを 表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示(p.12)
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示(p.12) 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム 表示	画像とRGBヒストグラムを表示(p.12) 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

@ XE

 ・ 電源を入れ直して再生モードにすると、再生情報表示選択で
 選択した画面が表示されます。 ▲3メニュー 「モードメモリ」 の「再生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直した ときに「標準情報表示」から表示されます。(p.65)

詳細情報表示

静止画

1

😀 ፻급료100-0001 55 ()mm Cité 1/2000 E2 8 IS01600 🖾 +1 5 🎂 +0 ●×▲•Ⅲ× =1_ 529+1.0 0±0 NP AWREEGIA1 0+0 JPEG 12.*** 2013/05/05 10:30 AM RdobeRGB @±0

	2	3 4	5	6
1	7 8	9	44	30
	10)		31
12 13	14		15	
16 17 18	19	20	21	32
22 23 24	25	26	27	
28			29	

動画

	, 11 😨	⊡100·	0001
general and	10'10"		(t o
	55.0mm	6	- 680-
1/125 F8.0	180125	2 0.0	•• ±0
¶он ≗ óн∰он ф	1_ ŲI3		0±0
FullHD 30.05	ND AWA	⊡G1A1	0±0
2013/05/05	10:30 AM		⊛±0

	2	3	5	6
1	33		8 9	30
	10)	7	31
12 13	14		15	
16 17 18	19	34		32
23 35	25	26	27	
28				

- 撮影画像 1 撮影モード (p.29) 2
- Eve-Fi転送済み (p.67) 3
- DPOF設定(p.68) 4
- 5 プロテクト (p.65)
- フォルダー No.-ファイ 6 ルNo. (p.66)
- 7 ドライブモード (p.38) 測光方式(p.34) 8
- 9 Shake Reduction /
- Movie SR
- **10** レンズ焦点距離
- 11 フォーカスモード (p.36)
- **12** シャッター速度 13 絞り値

	23	35	25	26	27		
		28					
,	14	ISO原	感度	(p.	.33)		
1	15	露出	補正				
1	16	ハイ	ライ	卜袝	郬正	(p.45	5
	17	シャ	ドー	補正	E (o.45)	
	18	ディ	スト	-3	ショ	ン補正	-

- 18 19 スマートエフェクト (p.49)
- 20 フラッシュモード (p.34)

- 21 フラッシュ光量補正
- 22 記録形式 (p.43) **23** JPEG記録サイズ
 - (p.43) /動画記録サイ ズ (p.43)
- 24 JPEG画質 (p.43)
- 25 NDフィルター

26 ホワイトバランス 31 画像仕上 (p.46) 32 カスタムイメージパラ (p.43) 27 ホワイトバランス微調整 メーター 28 撮影日時 33 記録時間 29 色空間 34 音声 **30** HDR 撮影 (p.45) /デ 35 フレームレート (p.43) ジタルフィルター

ヒストグラム表示/RGBヒストグラム表示

(p.47)

▲▼でヒストグラム表示とRGBヒストグラム表示が切り替え られます。



機能の設定方法

カメラの機能を使ったり設定を変更するには、次のいずれかの 方法で行います。

ダイレクトキー	撮影待機状態で▲▼◀▶を押す
コントロールパネル	撮影待機状態で(NFO)を押す (本書では)==マークで表示)
メニュー	MenD を押す



	ISO感度	p.33
▼	ホワイトバランス	p.43
•	フラッシュモード	p.34
•	ドライブモード	p.38



コントロールパネルで設定する

よく使用する撮影機能が設定できます。撮影待機状態で **MPD** を 押します。



1

INFO

メニューで設定する

ほとんどの機能はメニューで設定します。コントロールパネルで設定できる機能もメニューで設定できます。

基礎知識

1



◎メモ

- UNDを押すと、撮影モードでは常に ▲1メニューが最初に表示されます。直前に操作した画面から表示させたいときは、C3メ ニュー「15.メニュー選択の記憶」で設定します。
- ・ 設定した内容は、▲3メニュー「リセット」で初期設定に戻ります。(一部の機能を除く)

メニュー一覧

撮影メニュー

メニュー		項目	機能	初期設定	参照
	カスタムイメージ ^{*1}		色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか	p.46
	デジタルこ	7ィルター ^{*1}	フィルター効果をかけて撮影	フィルターオフ	p.47
	HDR撮影	*1	ハイダイナミックレンジ撮影	オフ	p.45
		アスペクト比 ^{*1}	画像の横:縦の比率を設定	4:3	
	記録設定	記録形式 *1	ファイルフォーマットを設定	JPEG	p.43
		JPEG記録サイズ ^{*1}	JPEGで記録した場合の記録サイズを設定	L	
		JPEG画質 ^{*1}	JPEGで記録した場合の画質を設定	***	
D 1		フォーカスモード ^{*1}	オートフォーカスとマニュアルフォーカスを選択	AF	p.36
		AF方式 ^{*1}	AF時のオートフォーカスの方法を選択	多点オート	p.36
AF/ 定	AF/MF設 定	AF補助投光	暗い場所でオートフォーカスするときに、補助投光を行う かどうかを設定	オン	p.36
		MF時の自動拡大	画像モニターの表示を拡大してピントを合わせやすくする	オフ	p.37
		フォーカスアシスト*1	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	p.38
	測光方式 ^{*1}		センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを 設定	分割	p.34

メニュー	-	項目	機能	初期設定	参照
	NDフィル	·ター ^{*1}	レンズに内蔵されたNDフィルターを使用するかどうか設 定	オフ	I
	ディストー	ーション補正 ^{*1}	レンズの特性によって生じる歪曲収差を軽減	オン	-
n 2	D-Range	設定 ^{*1}	ダイナミックレンジを拡大し、白とび・黒つぶれを防ぐ	オート	p.45
	高感度NR	2	高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.34
	Shake Re	eduction *1	手ぶれ補正機能を設定	オン	-
	焦点距離	入力	レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用してい る場合に設定	0.0mm	p.73
		電子水準器	撮影待機状態で左右・前後のカメラの傾きを表示	オン	
	ライブ	グリッド表示	撮影待機状態でグリッドを表示	オフ	n 10
	ビュー	ヒストグラム表示	撮影待機状態でヒストグラムを表示	オフ	p.10
		白とび警告	撮影待機状態で白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
		表示時間	クイックビューの表示時間を設定	1秒	p.28
		拡大表示	クイックビュー中に拡大表示するかどうかを設定	オフ	
	クイック	RAW追加保存	クイックビュー中にRAW画像を追加保存するかどうかを設定	オン	
	ビュー	消去	クイックビュー中に消去するかどうかを設定	オン	
~ ~	ഥ 3	ヒストグラム表示	クイックビュー中にヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	クイックビュー中に白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
	クイック	ダイヤル	クイックダイヤルに機能を割り当て	スマートエフェ クト	p.48
	ALL N	グリーンボタン	●に機能を割り当て	グリーンボタン	p.62
	ジリーノボタン	M/TAv時の動作	M/TAvモードで●を押したときの動作を設定	P LINE	p.63
		P時の電子ダイヤル	■モードで●を操作したときに変更する値を設定	P SHIFT	p.62
	モードメ	EN	電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	フォーカス位置 /デジタルフィ ルター/HDR撮 影以外オン	p.65

*1 コントロールパネルでも設定可

基礎知識

動画メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
	露出設定 *1	シャッター速度/絞り値を手動で設定するかどうかを選択	オート	p.33
	デジタルフィルター ^{*1}	フィルター効果をかけて撮影	フィルターオフ	p.47
,1	記録設定 *1	動画の記録サイズとフレームレートを設定	FullHD / 30fps	p.43
	録音レベル ^{*1}	記録時の音量を設定	音量3	-
	Movie SR ^{*1}	動画の手ぶれ補正機能を設定	オン	-

*1 コントロールパネルでも設定可

再生メニュー

メニュー		項目	機能	初期設定	参照
		表示間隔	画像切り替えの間隔を設定	3秒	
	スライド	画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ	n 53
	ショウ	繰返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ	p.55
D1 D1 D1 D1 D2 D2 m m m m の m		動画自動再生	スライドショウ中に動画も再生	オン	
	クイック排	达大	拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ	-
	白とび警告	E A	再生モードの標準情報表示/ヒストグラム表示で白とび部 分を赤で点滅表示	オフ	Ι
	画像の自動回転		縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時 に回転して表示	オン	p.53
	全画像消去	L .	保存されているすべての画像を消去	_	-

基礎知識

詳細設定メニュー

1	>
•	
基	
礎	
知	
識	

〈ニュー		項目	機能	初期設定	参照
	Language	》言語	表示言語の切り替え	English	p.25
	日時設定		年月日の表示形式と日時を設定	2013/01/01	p.26
	ワールドタ	タイム	現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地	p.64
L 1	電子音		合焦音/AE-L/セルフタイマー/リモコン/ワンタッチ RAW+/シャッター音の音量とオン/オフを切り替え	音量 3 シャッター音:1 それ以外オン	_
	画面表示	ガイド表示	撮影モードを変更したときに、ガイド表示をするかどうか を設定	オン	p.11
		配色	コントロールパネルとメニューの配色を設定	1	
	LCD設定		画像モニターの明るさと色味を調整	0	-
	フリッカ-	-低減	電源周波数を設定し、画面のちらつきを低減	50Hz	-
	外部接続	ビデオ出力	AV機器とビデオ端子で接続するときに設定	-	p.54
		HDMI出力	AV機器とHDMI端子で接続するときに設定	オート	p.54
		USB接続	パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC	p.75
•2	フォルダー名		画像が保存されるフォルダー名の付け方を設定	日付	p.66
•2	フォルダー新規作成		メモリーカードに新しいフォルダーを作成	-	p.66
	ファイル	連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継 続するかどうかを設定	オン	p.66
	NO.	ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	-	
	Eye-Fi		Eye-Fiカードを使用するときの動作を設定	オフ	p.67

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
	エコモード	5秒間操作しなかったときに、画像モニターを自動的に暗 くしてバッテリーの消耗を抑制	オン	-
4 3	オートパワーオフ	ー定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるま での時間を設定	1分	p.25
	リセット	▲メニュー/ ☆メニュー/ ▶メニュー/ ↓メニュー/ダ イレクトキー/コントロールパネル/再生モードパレット の設定内容を初期化	_	p.14
	ピクセルマッピング	CMOSセンサーの画素の欠損部分を補完	-	p.76
	ダストリムーバル	CMOSセンサーを振動させてクリーニング	-	p.75
₹ 4	フォーマット	メモリーカードをフォーマット	-	p.26
	バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示。アップデー トファイルがある場合は、バージョンアップを実行	-	-

カスタムメニュー

1
基
礎
知
識

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
	1. レンズシャッターの動作	レンズシャッターと電子シャッターの使用を設定	レンズシャッ ターのみ使用	p.72
	2. ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.34
C 1	3. AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ	-
	4. 測距点と露出の関連付	分割測光時に露出値とAFエリア内の測距点を関連付け	オフ	p.34
	5. ブラケット撮影順	露出ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +	p.41
	6. フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	AWB	p.44
	7. 白熱灯下のAWB	ホワイトバランスAWBのときの白熱灯の色味を設定	弱	-
C 2	8. AFの動作	AF 中にシャッターボタンを全押ししたときの優先動作を 設定	フォーカス優先	p.36
	9. リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ	p.40
	10. AF時のフォーカスリング	AF時にフォーカスリングを無効化	有効	p.36
	11. フラッシュ収納時の発光	内蔵フラッシュ収納時の発光を設定	発光する	p.35
	12. 充電中のレリーズ	フラッシュ充電中の撮影可否を設定	オフ	p.35
	13. 色空間	使用する色空間を設定	sRGB	-
	14. 回転情報の記録	回転情報を記録するかどうかを設定	オン	p.53
C 3	15. メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次に (MEND) を押したときに 記憶した画面を表示	記憶しない	p.14
	 16. SRの自動オフ	セルフタイマー撮影/リモコン撮影時に自動的にShake Reductionをオフにする	自動オフする	p.39
	カスタムのリセット	C 1~3メニューの設定内容をリセット	-	-

準備

2

レンズの取り付け

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

2 ボディマウントカバー(①) とレンズマウントカバー (②)を外す カバーを外したレンズは、カメラ に取り付ける面を上にして置く



3 カメラとレンズのマウント 指標 (赤点/③)を合わせて 差し込み、レンズを右に回す 「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき

レンズキャップを取り付ける →レンズ取り外しボタン (④)を 押しながらレンズを左へ回す



❷注意

 電源がONのときにレンズを取り外すと、シャッターボタン がロックされます。電源が入っているときは、レンズの着脱 をしないでください。

- レンズの取り付け/取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所 で行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディ マウントカバーを装着してください。
- 取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズ キャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、CMOSセンサーを触ったりしないでください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気系統のトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、 不具合などにつきましては保証いたしかねます。

バッテリーのセット

本機専用のバッテリー D-LI68とバッテリー充電器 D-BC68Pを 使用します。

2 準

備

バッテリーを充電する

1 バッテリー充電器にACコードを接続

2 ACコードをコンセントに差し込む

インジケーターランプ



3 ▲マークがある面を上にしてバッテリーを充電器にセット 充電中はインジケーターランプ

ランプが消灯したら充電完了



❷注意

- バッテリー充電器D-BC68Pでは、D-LI68以外は充電しないで ください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- 次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
 - バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケーター ランプが点滅する、または点灯しない
 - 正しく充電しても使用できる時間が短い(バッテリーの寿命)

◎メモ

充電時間は、最大で約115分です(周囲の温度や充電状態によって異なります)。周囲の温度が0~40°Cの環境で充電してください。

バッテリーを入れる

❷注意

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- 電源が入っているときは、バッテリーカバーを開けたり、 バッテリーを取り出したりしないでください。
- カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。
- 長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。

点灯

- 長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。
- バッテリーカバーを ① の方 向にスライド



2 バッテリーの ▲ マークをカ メラのレンズ側に向け、ロッ クするまで挿入 取り出すときは、バッテリーロッ クレバーを③の方向に押す







◎メモ

- 低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されないことがあります。
- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、
 予備のバッテリーをご用意ください。

リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイク ルマークです。 ご使用済みの小型充電式電池を廃棄する

ご使用済みの小型允電式電池を廃棄する ときは、端子部に絶縁テープを貼って、小 型充電式電池リサイクル協力店へお持ち ください。



ACアダプターを使用する

画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と 接続するときは、ACアダプターキットK-AC115J(別売)のご 使用をお勧めします。

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認し、 バッテリーカバーを開ける

バッテリーがセットされていたときは取り出す

2 バッテリー室下側の接続 ケーブルカバー(①)を引き 上げてからバッテリー室に DCカプラーを挿入 取り出すときは、バッテリーロッ クレバーを②の方向に押す



3 バッテリーカバーを閉める 接続ケーブルカバー部分から接 続ケーブルを引き出す



2 準

備

4 DCカプラーとACアダプターを接続



5 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに 差し込む

❷注意

- AC アダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源 をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにア クセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破 損するおそれがあります。
- DC カプラーを取り出したら、接続ケーブルカバーを元に戻してください。

• ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使 用説明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

本機では、市販のSDメモリーカード/SDHCメモリーカード /SDXCメモリーカードが使用できます。また、無線LAN機能 を内蔵したEye-Fiカードも使用できます。(本書では、これら を「メモリーカード」と表記します。)



2 カードカバーを ① の方向に スライド



3 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けて 奥まで挿入 取り出すときは、メモリーカードをさらに押し込む



2

準備

4 カードカバーを閉じ、④の方 向にスライド



❷注意

- カードアクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- 電源が入っているときにカードカバーを開けると、電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- ・未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本 機でフォーマット(初期化)してから使用してください。 (p.26)
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影途中で終了する場合があります。

初期設定

電源を入れて初期設定をします。

電源を入れる

1 電源ボタンを押す

もう一度押すと電源OFF 初めて電源を入れたときは、 「Language/言語」画面が表示



◎メモ

 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。(初期 設定:1分)、3メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。

言語を設定する



☆に都市名が正しく設定されて いるときは、手順6に進む



2 ▼で選択枠を △ に移動し、 ▶ を押す 「 △ 現在地」 画面が表示



年/月/日 24h

年/月/日 24h

2013/05/05

意法定

2013/01/01

00:00



❷注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて 全データが消去されます。

◎メモ

 フォーマットを行うと、メモリーカードに「Q7」というボ リュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続したとき は、「Q7」という名称のリムーバブルディスクとして認識さ れます。

撮影のキホン

最適な撮影モードが自動で選択される AUTO モードで撮影して みましょう。

図の矢印部分を押してレン ズキャップを外す





3 モードダイヤルをAUTO に 合わせる



ダイヤル指標

画像モニターに、撮影モードが 表示(ガイド表示)



2 準備

4 画像モニターで被写体を確認

5 ズームレンズを使っている ときは、ズームリングを左右 に回して写す範囲を決める



6 AF フレーム内に被写体を入れてシャッターボタン半押し ピントが合うと、AFフレームが緑になり「ピピッ」と電子音 (ア電子音の設定 (0.18)



7 シャッターボタン全押し

撮影画像が画像モニターに表示(クイックビュー)

クイックビュー中のボタン	・ダイヤル操作
--------------	---------

Ť	消去
Ø	RAW画像を追加保存

℃ クイックビューの表示設定 (p.16)

画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。

1 ⊾を押す

再生モードになり、最新画像が表示(1画像表示)



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

•	前の画像を表示	
►	次の画像を表示	
Ē	消去	
●右	拡大(最大16倍) ▲▼ ◀▶ で拡大位置移動 ● で中央に戻る	
●左	分割表示(p.51)	
Ø	RAW画像を追加保存(保存可能時のみ)	
INFO	表示情報切り替え(p.11)	

◎メモ

・ 画像モニターに 図RAW型が表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。(バッファ RAW保存)

撮影モードを選ぶ

被写体や状況によって撮影モードを選択します。 本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	用途	参照
AUTO オートピクチャー モード	 ● (標準) / 1 (人物) / ▲ (風景) / * (マクロ) / 1 (夜景人物) / ☆ (夕景) / 「青空) / ŵ (フォレス ト) から最適な撮影モードをカメラが自動選択 	p.27
SCN シーンモード	さまざまな撮影シーンから目的 に合った撮影モードを選択	p.29
BC ボケコントロール モード	ピント位置が異なる画像を合成 し、絞りを開いて被写界深度を 浅くしたような画像を撮影	p.30
P / Tv / Av / M 露出モード	シャッター速度と絞り値を設定 して撮影	p.31
▶ 動画モード	動画を撮影	p.32

◎メモ

撮影モードによって設定できる機能に制限があります。「撮影モードの機能制限」(p.69)を参照してください。

1 モードダイヤルをSCNに合わせる シーンモード選択画面が表示

2 ▲▼ ◀ ▶ でシーンを選択、 ◎ を押す



2	人物	肌色を健康的に仕上げる
	風景	木々の緑を鮮やかに仕上げる
炭	マクロ	花などに近づいて撮影
×.	動体	動きがある被写体を撮影
-	夜景人物	夜景を背景に人物を撮影
<u>**</u>	夕景	朝焼けや夕焼けを撮影
-	青空	深い青で青空を撮影
	フォレスト	木漏れ日や木々の緑を鮮やかに表現
る曲	夜景	夜景を撮影
1 IĤDŔI	夜景HDR	露出が異なる3枚の画像を合成して仕 上げる
* :	ナイトスナッ プ	暗いところでのスナップ撮影
HDR	HDR	3枚の画像を合成して幅広い階調を表現
æ.	テーブルフォ ト	テーブル上の小物などを撮影
Ψ٩	料理	彩度を高めにして料理などを撮影

1	ペット	動き回るペットなどを撮影
Ŷ	キッズ	動きの多い子供の肌色を健康的に撮 影
%	サーフ&ス ノー	砂浜や雪山など背景が明るい場所で 撮影
3	逆光シルエッ ト	逆光で被写体がシルエットになるよ うに仕上げる
普	キャンドルラ イト	ろうそくの明かりを生かして撮影
Y	ステージライ ト	暗いところで動きのある被写体を撮 影
盦	美術館	フラッシュが使用できない場所での 撮影

◎メモ

 ・シーンモードは、コントロールパネルまたは●1メニューで 変更できます。

ボケコントロールモード

1 モードダイヤルを BC に合わせる



2 ●で調整

ボケ具合は再生モードで確認



❷注意

- AFが可能なレンズを使用したときだけ撮影ができます。 (p.72)
- 撮影中はカメラを動かさないでください。
- 一部の機能は使用できません。(p.69)
- ・ 以下の条件では、ボケの効果がうまく表現できません。
 - 全体のコントラストが低いとき
 - ・ 噴水など、色や形が常に変化しているもの
 - ・ 動いているもの
 - 小さなもの
 - 被写体が画面の端にあるとき
 - 逆光
 - 特殊なフィルターを使用しているとき
 - ・ 遠い被写体

露出モード

モード	シャッター 速度変更	絞り値 変更	ISO感度 変更	露出補正
P プログラム 自動露出	△ *1	△ *1	0	0
Tv シャッター 優先自動露出	0	×	0	0
Av 絞り優先 自動露出	×	0	0	0
M マニュアル 露出	0	0	⊖ * 2	×

*2 ISO AUTOに設定するとTAv (シャッター & 絞り優先自動露出) モー ドで動作

1 モードダイヤルをP / Tv / Av / Mに合わせる 変更可能な値に▶表示



2 ●で調整



3 M モードは 図(①)を押し てから●(②)で絞り値変更



 P/Tv/Avモードは、この操作 で露出補正(1/3 EV単位、-3~ +3 EV)



ボタン・ダイヤル操作

- 図 設定の開始/終了
- リセット

◎メモ

- 露出を自動的に変化させて撮影したいときは「露出ブラケット」を利用します。(p.41)
- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度/ 絞り値で適正露出が得られない場合があります。
- Mモードは、シャッター速度/絞り値調整中に適正露出との 差がバーグラフで表示されます。
- ・ M / TAv モードのときの●ボタンの機能を、●3メニュー「グリーンボタン」で設定できます。(p.63)
- Tv / Mモードでシャッター速度を2秒より長い速度に設定したときは、ISO 1600より高いISO感度は使用できません。

バルブ撮影

1 モードダイヤルをMに合わせる

2 ● 左 シャッター速度にBulbが表示されるまで回す



3 シャッターボタンを押す

押し続けている間に露光(最長30秒)

4 シャッターボタンから指を放す 露光終了

❷注意

- レンズシャッター内蔵レンズ使用時のみバルブ撮影ができます。(p.72)
- 一部の機能は使用できません。(p.69)

被写界深度を確認する(プレビュー)

●2メニュー「グリーンボタン」で●に「プレビュー」を 割り当てると、撮影前に被写界深度の確認ができます。 (p.62)

動画モード

モードダイヤルを 當 に合わせる
 ☆1メニュー「露出設定」を 端に設定している場合は、●と図で露出設定



録画可能時間

2 シャッターボタンを半押し 3 シャッターボタンを全押し 撮影開始 画面左上に●点滅表示 フォーカスモードが**AF**のときは、**◎**でオートフォーカス

4 シャッターボタンを全押し

撮影終了

❷注意

- ・音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども 録音されます。
- デジタルフィルターなどの画像処理を設定して撮影した場合、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。

◎メモ

- ・ 動画の設定は、コントロールパネルまたは、21メニューで設 定します。(p.17)
- 動画は最大4GB、または最長25分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が中断し、保存されます。
- 別売のリモコンで動画を撮影することもできます。ドライブ モードで資を選択します。(p.40)

動画の再生



ボタン・ダイヤル操作

A	再生/一時停止
•	(一時停止中)コマ送り
▶長押し	早送り再生
•	(一時停止中)コマ戻し
◀長押し	早戻し再生

▼	停止
	音量調節(6段階)
Ø	(一時停止中)表示中のコマをJPEG形 式で保存
	式で保存

◎メモ

再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消去ができます。(p.59)

露出を設定する

ISO感度

撮影待機状態で▲を押す

2 ▲▼で選択

ISO 自動調整(初期設) AUTO 上限値を変更可	
ISO	ISO 100~12800の間 で固定値を設定



3 📾 で値を変更

4 図を押す 撮影待機状態に戻る

◎メモ

- ISO感度の調整ステップはC1メニュー「2. ISO感度ステップ」で設定します。(初期設定:1EVステップ)
- ISO感度を高く設定するほど、撮影画像にノイズが発生しや すくなります。●2メニュー「高感度NR」で、ノイズ軽減 処理の設定ができます。

オート	ISO感度に応じて最適なノイズリダクション を行う(初期設定)	
弱/強	ISO感度に関係なく、一定のノイズリダク ションを行う	

測光方式

1

センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定 します。 コントロールパネル、または▲1メニュー「測光方式」で設定 します。

Ø	分割	センサーを分割して明るさを測定(初期設定) 逆光時は自動補正 C1メニュー「4.測距点と露出の関連付」で、 露出値とAFエリア内の測距点の関連付けが 可能
0	中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正 されない
•	スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用

フラッシュを使う

1 撮影待機状態で ◀を押す

2 ∢▶ で選択



•

4 ^	自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光 をカメラが判断
4 8	自動発光 +赤目軽減	自動発光前に赤目軽減のための予 備発光を行う
4	強制発光	常に発光
4∞	強制発光 +赤目軽減	強制発光前に赤目軽減のための予 備発光を行う
sLow ¥	スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をする ときなどに利用
sl <u>o</u> ₩ © ∛	スローシンクロ +赤目軽減	スローシンクロ発光前に、赤目軽 減のための予備発光を行う
	後幕シンクロ	シャッター後幕が閉じる直前に発 光 遅いシャッター速度に設定 動く被写体の光跡を、後ろに流れ るように写すことが可能
٩	発光禁止	フラッシュを発光しない

3 撮影




撮影待機状態に戻る

5 フラッシュポップアップレ バーをスライド



❷注意

- 内蔵フラッシュを使用しないときは、必ず収納してください。また、収納するときに指などを挟まないように注意してください。
- 内蔵フラッシュは収納したままでも発光しますが、使用する レンズによってはケラレが発生することがあります。収納時 に発光させたくない場合は、C2メニュー「11.フラッシュ収 納時の発光」で設定します。
- フラッシュ充電中は撮影ができません。充電中にも撮影をしたい場合は、C2メニュー「12. 充電中のレリーズ」で設定します。
- 使用するレンズによっては、内蔵フラッシュの使用に制限が あります。(p.72)

◎メモ

撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

撮影モード	選択可能なフラッシュモード
AUTO / SCN ^{*1}	\$ ^ / \$
BC	\$^/\$ <u>\$</u> /\$/\$@/\$
P∕Av	4 ^A / 4 ^B / 4 / 4 _O / ^{slow} / ^{slow} / ^{slow} / 3
Тν	\$^/\$ <u>\$</u> /\$/\$@/\$\$/\$
м	4/4o/#/®

- *1 一部のSCNモードは

 ⑤固定
- 内蔵フラッシュは、被写体との距離がおおよそ0.7~5mのときに有効です。それよりも近いと、ケラレなどが発生します。この距離は使用するレンズや、ISO感度の設定によって多少異なります。

ISO感度	ガイド ナンバー	ISO感度	ガイド ナンバー
ISO 100	約4.9	ISO 1600	約20
ISO 200	約7	ISO 3200	約28
ISO 400	約10	ISO 6400	約40
ISO 800	約14	ISO 12800	約56

• 外付けフラッシュについては、「外付けフラッシュ利用時の 機能」(p.74)を参照してください。

撮 影

ピントを合わせる

フォーカスモード



コントロールパネルまたは**ロ**1メニュー「AF/MF設定」の 「フォーカスモード」で、**AF**または**MF**に設定します。

◎メモ

- AFモードでは、被写体が暗い場合はシャッターボタン半押 しでAF補助光が発光します。▲1メニュー「AF/MF設定」の 「AF補助投光」で設定が変更できます。
- でピントを合わせることもできます。その場合、シャッ ターボタン半押しのAF動作は無効になります。(p.62)
- AFモードのときに、レンズのフォーカスリングを誤って操作してピントがずれることを防ぐため、フォーカスリング操作を無効にすることができます。C2メニュー「10. AF時のフォーカスリング」で設定します。

オートフォーカスの方法を設定

🗖 / 🗖 1

オートフォーカスの方法(AF方式)は以下から選択できます。

Ø	顔検出	人物の顔を検出して追尾 AF・AE対象のメイン顔検出枠は黄色で表 示
	追尾	ピントが合った被写体を追尾 ピントが合っていなくても、シャッター ボタン全押しで撮影可
	多点オート	任意のエリアにピントを合わせる(初期 設定) センサーを49分割(横7×縦7)し、AFエ リアを任意の範囲に設定。AFエリアの大 きさは、49分割中の25/9/1個のサイズ から選択
÷	セレクト	ピクセル単位でAFエリアを設定
-	スポット	中央の限られた範囲にピントを合わせる

- 撮影モードによっては 🞯 / 🔤 に固定されます。(p.69)
- AFモードでは、ピントが合っているときだけ撮影ができます。ピントが合っていなくても撮影したいときは、C2メニュー「8. AFの動作」を「レリーズ優先」に設定します。

任意の範囲にピントを合わせる

- オートフォーカスするエリアを任意の位置・範囲に設定しま す。
- **1** AF方式を||| / 🔤 に設定
- 2 💷 を押す

撮影待機状態

3 ∞を押す

4 AFエリアを指定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	AFエリアを移動

(多点オー	ト)	AFエリ	ア打	広大/	縮小	١

AFエリアを中央に戻す

5 図を押す

AFエリア確定

マニュアルでピントを調整 (マニュアルフォーカス)

1 フォーカスモードをMFに設定

2 <u>い</u>を押す 撮影待機状態

3 画像モニターを見ながらレ ンズのピントリングを回す ピントが合っていなくても、 シャッターボタン全押しで撮影 可能



D1

拡大表示してピントを合わせる

ピントリングを回したときに自動的に画像モニター中央を拡 大表示します。

- 1 △1メニュー「AF/MF設定」で「MF時の自動拡大」 を選択
- 2 拡大倍率を選択、 🗅 を押す

3 💷 を2回押す

撮影待機状態

4 ピントリングを回す 拡大表示



ボタン・ダイヤル操作

	拡大(2/4/6倍)
AV4Þ	拡大位置を移動 ●で中央を表示
OK	等倍に戻す

◎メモ

 ・コントロールパネルまたは △1 メニュー「AF/MF 設定」で 「フォーカスアシスト」をオンに設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、確認しやすくなります。AF / MF の両方で有効です。

ドライブモードを設定する

 \mathbf{E}

以下のドライブモードが選択できます。

	1コマ撮影	通常の撮影
ti	連続撮影(Hi)	シャッターボタンを押している間に 撮影 最大約5コマまで連続撮影可能 記録形式RAW/RAW+では選択不可
ů	連続撮影(Lo)	最大約100コマまで連続撮影可能
હ	セルフタイマー (12秒)	シャッターボタンを押してから約12 秒後に撮影
Ċ2s	セルフタイマー (2秒)	シャッターボタンを押してから約2秒 後に撮影
0.	リモコン	リモコンのシャッターボタンを押す とすぐに撮影
∎ 3S	リモコン(3秒 後レリーズ)	リモコンのシャッターボタンを押し てから約3秒後に撮影
P	リモコン連続撮 影	リモコンのシャッターボタンを押す と連続撮影開始。もう一度シャッ ターボタンを押すと連続撮影終了
Ø	露出ブラケット	露出が異なる3枚の画像を連続して撮 影 1回のレリーズで、標準→アンダー →オーバーの順に3枚の画像が保存
ı.	リモコン露出ブ ラケット	リモコンで露出ブラケット撮影
	多重露出	任意の枚数を1枚の画像に合成しなが ら撮影
æ	セルフタイマー 多重露出	セルフタイマーで多重露出

ŧ	リモコン多重露 出	リモコンで多重露出
ঔ	インターバル撮 影	指定時刻から一定間隔で連続撮影
<u>5</u>	インターバル動 画	ー定間隔で撮影した静止画を1つの動 画ファイルで保存 聲モード時のみ選択可

❷注意

一部の撮影モードは、設定できるドライブモードが制限されます。(p.69)

◎メモ

- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。
 3メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに1コマ撮影に戻ります。(p.65)
- セルフタイマー/リモコンを選択したときは、Shake Reductionが自動的にオフになります。オフにしたくない場 合は、C3メニュー「16. SRの自動オフ」で設定します。

連続撮影

1 撮影待機状態で ▶ を押す ドライブモード画面が表示

2 ∢▶で□□を選択、▼を押す



3 **∢ ▶ で** ⁽¹⁾ / ⁽¹⁾ **を選択、 ⁽¹⁾ を 押す** 撮影待機状態に戻る

❷注意

- 設定しているアスペクト比によって、撮影できる枚数が異なります。
- フラッシュ充電中は撮影ができません。充電中にも撮影をしたい場合は、C2メニュー「12. 充電中のレリーズ」で設定します。

◎メモ

・ AFは1枚目の合焦位置に固定されます。

セルフタイマー撮影

2 ∢▶で心を選択、▼を押す



- 3 **∢ ▶ で** ⊙ ∕ ⊗ を選択、 ◎ を押す 撮影待機状態に戻る
- 4 シャッターボタン半押し→全押し セルフタイマーランプ点滅 12秒後または2秒後に撮影

リモコン撮影

1 撮影待機状態で ▶ を押す ドライブモード画面が表示

2 ∢▶ で▮を選択、▼を押す



3 < ▶ で î / î :: / i :: を選択、 ◎ を押す 撮影待機状態に戻る セルフタイマーランプ点滅

4 シャッターボタン半押し

5 カメラ正面/背面のリモコン受光部にリモコンを 向け、リモコンのシャッターボタンを押す

- リモコン撮影できる距離は、カメラ正面から約4m、背面から約5cmです。
- リモコンでピント合わせをしたいときは、C2 メニュー「9. リモコン時のAF」で設定します。
- 防水リモコンO-RC1を使用時は、11ボタンでピント合わせが できます。Fnボタンには対応していません。

露出ブラケット

- 1 撮影待機状態で▶を押す ドライブモード画面が表示
- 2 ∢▶で塗を選択、▼を押す
- 3 ◀▶で塗/塗を選択、▼を押す
- **4 ブラケット幅を設定する** 1/3 EV単位で設定



ボタン・ダイヤル操作

	ブラケット幅変更
$\mathbb{Z} \rightarrow \blacksquare$	露出補正
0	リセット

5 ◎を押す

撮影待機状態に戻る

◎メモ

 ・ 3枚の撮影順を変更するときは、℃1メニュー「5. ブラケット 撮影順」で設定します。

多重露出

1 撮影待機状態で ▶ を押す ドライブモード画面が表示

2 ∢▶で圖を選択、▼を押す

3 ∢▶で回/◎/を選択、▼を押す

4 ▲ で撮影回数を選択 2~9回で指定 撮影回数に応じて露出を調整す る場合は、「自動露出調整」を図 に設定



5 図を押す

撮影待機状態に戻る

6 撮影する

クイックビュー表示

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

Ť	画像を破棄し、1回目から撮影し直し
MENU	撮影済み画像を保存し、撮影待機状態に戻 る

設定した回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

インターバル撮影

2 ∢▶で谈[□]を選択、▼を押す

3▲▼ **∢** ▶ で撮影条件を設定



撮影間隔	2枚以上撮影する場合の待機時間を、3 秒間~24時間で設定
撮影枚数	撮影する枚数を2~999枚で設定
開始トリガー	1 枚目を撮影するタイミングを即時/時 刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」の場合 の撮影開始時刻を設定

4 設定が終わったら◎を押す

撮影待機状態に戻る

5 撮影する

「開始トリガー」が「即時」の場合は1枚目撮影。「時刻指 定」の場合は、設定時刻から撮影開始 撮影を途中で終了する場合は、 設定枚数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

ØXE

42

AFは1枚目の合焦位置に固定されます。

インターバル動画

. ■ モードのときは、一定間隔で撮影した静止画を1つの動画 ファイル(Motion JPEG、拡張子:.AVI)で保存する「イン ターバル動画 | が撮影できます。

モードダイヤルを聞に合わせて▶を押す ドライブモード画面が表示

- 2 ∢▶で谈を選択、▼を押す
- 3 ▲ ▼ ◀ ▶ で撮影条件を設定



撮影間隔	3秒/5秒/10秒/30秒/1分/5分 /10分/30分/1時間から選択
撮影所要時間	撮影開始から終了までの所要時間を 12秒~99時間で設定。「撮影間隔」 によって、設定できる時間が異なる
開始トリガー	1 枚目を撮影するタイミングを即時 /時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」の場 合の撮影開始時刻を設定



5 撮影する

「開始トリガー」が「即時」の場合は1枚目撮影 クイックビュー表示後、画像モニター消灯 設定枚数の撮影が終了すると、通常の動画撮影待機状態に 戻る

記録形式を設定する

静止画

🗖 / 🗖 1

静止画の記録形式は、コントロールパネルまたは▲1メニュー 「記録設定」で設定します。

アスペクト比	169/3:2/4:3(初期設定)/1:1
記録形式	JPEG(初期設定)/RAW/RAW+
JPEG記録サイズ	L (初期設定) / M / S
JPEG画質	★★★(初期設定)/★★/★

❷注意

「記録形式」をRAW/RAW+に設定すると、一部の機能が制限されます。また撮影モードによっては、RAW/RAW+が選択できません。(p.69)

◎メモ

- 「記録形式」をRAW+に設定すると、ファイル No. が同一の JPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- ●に機能を割り当てて、ボタンを押したときだけ記録形式を 変更して撮影することもできます。(p.62)

動画



 \odot

動画の記録形式は、コントロールパネルまたは №1 メニュー 「記録設定」で設定します。

記録サイズ	FullHD(初期設定)/「HD」/VGA
フレームレート	30 fps(初期設定)/25 fps/24fps

色味と明るさを設定する

ホワイトバランス

撮影待機状態で▼を押す ホワイトバランス設定画面が表示

2 ∢▶ で選択

※は▼を押してから◀▶で ※/ ※/ ※/ ※を選択



	ホワイトバランス	色温度
AWB	オート	約4000~8000K
※	太陽光	約5200K
	日陰	約8000K
ත	曇天	約6000K
蕜	端。昼光色蛍光灯 端、昼白色蛍光灯 端、白色蛍光灯 二、電球色蛍光灯	約6500K 約5000K 約4200K 約3000K
*	白熱灯	約2850K
₽ ₩B	フラッシュ	約5400K
CTE	Color Temperature Enhancement	_
Д	マニュアル1~3	-

微調整が不要なときは、手順5へ



微調整画面が表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ G-M	(グリーン-マゼンタ)	間
--------	-------------	---

∢ ►	B-A	(ブルーー	ア	ン	J	ľ–)	-)	間
	D-A	$(\mathcal{I}\mathcal{I}\mathcal{I})$	/	~	/	1)	IЫ

リセット

<u>。</u> 4 ®を押す

手順2画面に戻る

5 @を押す

撮影待機状態に戻る

◎メモ

 フラッシュ発光時のホワイトバランスは、C1 メニュー「6. フラッシュ発光時のWB」で設定できます。

マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

1 p.43の手順2で品を選択、▼を押す

2 ◀▶で品1~品3を選択する



3 測定する照明の下で白い被写体を選択し、シャッターボタンを全押し

必要に応じて微調整する 測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」 と表示。 ☞ で再測定

4 🛯 を押す

撮影待機状態に戻る

◎メモ

再生モードパレット「マニュアルWB登録」で、撮影済み画像のホワイトバランスを品1~品3に登録できます。(p.50)

明るさを補正して撮影

ハイライト補正/シャドー補正

ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白 とび/黒つぶれを防ぎます。

コントロールパネル、または ■2メニュー「D-Range設定」で 設定します。



❷注意

• ISO感度をISO 100に設定すると、ハイライト補正をオンに 設定することはできません。

HDR撮影

露出が異なる3枚の画像を撮影して 合成します。 コントロールパネル、または▲1メ ニュー「HDR撮影」で設定します。



🗖 / 🗖 1

❷注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.69)
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。

◎メモ

 SCNモードの
 ・ FOR
 HDRに設定されているときは専用のHDR 設定になるため、「HDR撮影」は設定できません。

仕上がりイメージを決めて撮影す る

少し変わった雰囲気の写真を撮影したいときなどは、でき上が りイメージを先に決めてから撮影します。以下の機能がありま す。いろいろな設定で撮影してみて、お気に入りの撮影方法を 見つけてください。

カスタム イメージ	「鮮やか」や「人物」などの画像仕上を設定
デジタル フィルター	いろいろなフィルターを使って撮影
スマート エフェクト	さまざまな効果を設定して撮影

カスタムイメージ

1/**1**

7 ■/ □1メニューで「カスタムイメージ」を選択、 ◎を押す

カスタムイメージ設定画面が表示

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で画像仕上を選択



鮮やか	ほのか
ナチュラル	銀残し
人物	リバーサルフィルム
風暑	モノトーン
雅 (MIYABI)	クロスプロヤス
ポップチューン	

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 図を押す パラメーター設定画面表示

4 ▲▼でパラメーターを選択



ボタン・ダイヤル操作

<►	值調整
	シャープネス/ファインシャープネス切り 替え(,≌ モード時は無効)

● リセット

5 @を押す

手順2の画面に戻る

6 🖾を押す

(ED) を押す 撮影待機状態に戻る

撮影済み画像のクロスプロセス設定を登録する

カスタムイメージ/スマートエフェクトの「クロスプロセス」 を設定して撮影した画像は、撮影するたびに処理結果が異なり ます。気に入ったクロスプロセス画像が撮影できたときは、そ の設定を登録しておいて呼び出して使用することができます。

1 再生モードの1画像表示で▼を押す

再生モードパレットが表示

2 ▲▼ ◀ ▶ で 🖾 を選択、 ⑳を押す

最新画像から順にクロスプロセス画像を検索 見つからない場合は「クロスプロセス撮影画像がありません」と表示

3 🜨 でクロスプロセス画像を 選択



4 ▲▼で登録する番号を選択、◎を押す

指定した画像の設定がお気に入り1~3に登録

◎メモ

 登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」で「クロスプロセス」を選択し、パラメーターでお気に入り1~3 を選択して呼び出します。

- デジタルフィルター
- 1 四 / □1メニューで「デジタルフィルター」を選択、◎を押す デジタルフィルター設定画面が表示
 2 ▲▼ <> でフィルターを選びていていていていた。

デジタルフィルター撮影を終了 するときは 「フィルターオフ」を 選択



1 / **1**

ソリッドモノカラー	
水彩画	
ポスタリゼーション	

ハイコントラスト
 水彩画
 シェーディング
 ポスタリゼーション
 ドラマチックアート
 スリム
 ネガポジ反転
 フィッシュアイ
 色抽出

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 図を押す

トイカメラ

パラメーター設定画面が表示

4 ▲ ▼ でパラメーターを選択、 ◀ ▶ で調整



影

5 @を押す

手順2の画面に戻る

6 @を押す

7 💷を押す

撮影待機状態に戻る

❷注意

3

撮

影

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.70)
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

◎メモ

 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。 (p.57)

よく使う機能をクイックダイヤルに登録 03

カメラ前面のクイックダイヤルには、以下のいずれかの機能が 1つ登録できます。よく使用する機能を登録しておくと、簡単 に設定が変更できます。

スマートエフェクト(初期	フォーカスモード
設定)	フォーカスアシスト
アスペクト比	NDフィルター

1 □3メニュー「クイックダイヤル」を選択、▶を押す 「クイックダイヤル」画面が表示

2 ▶を押し、▲▼で登録する機 能を選択



- 3 ◎を押してから▼を押す
- 4 ▲▼ でダイヤルのポジショ ン1~4を選択



5 <► で登録する設定値を選択 スマートエフェクトは以下から 選択



極彩	ドラマチックアート
ソリッドモノカラー	ハードモノクローム
Auto110モード	水彩画
クロスプロセス	あでみやび
さくらほのか	USER 1~3

6 🖾を押す

手順4画面に戻る

手順4~6を繰り返し、他のポジションも同様に設定を登録



◎メモ

 「スマートエフェクト」の「USER1~3」には、お気に入り 画像の撮影設定が登録できます。クイックダイヤルの操作 で、お気に入りの設定ですぐに撮影ができます。(p.63)

設定を呼び出して撮影する

クイックダイヤルに登録した機能の設定で撮影します。この間は、メニュー等の設定にかかわらず、クイックダイヤルに登録した設定が優先されます。





2 _{撮影する}

3 撮影終了後は、クイックダイヤルをポジション0に 戻す 元の設定に戻る

❷注意

 クイックダイヤルを使って撮影しているときは、その設定を メニュー等で変更することはできません。クイックダイヤルの設定を変更するときは、登録し直してください。 スマートエフェクトを使って撮影する

- **1** 「クイックダイヤル」に「スマートエフェクト」を 登録
- 2 撮影待機状態でクイックダイヤルのポジション1~ 4を選択
- 3 設定を変更するときは▼を押す パラメーター変更画面が表示

4 ▲▶ でパラメーターを変更



5 ∞を押す

撮影待機状態に戻る

❷注意

• 一部の機能は使用できません。(p.70、71)

再生モードパレットの設定項目

再生に関する機能は、 ▶1 メニュー (p.17)のほかに、再生モードパレッ トで指定します。 再生モードパレットは、再生モード の1画像表示のときに▼を押すと表 示されます。



	項目	機能	参照
\Diamond	画像回転 ^{*1}	画像の回転情報を変更	p.53
0	デジタルフィル ター ^{*1}	デジタルフィルターで加工	p.57
øĮ	赤目補正 *1 *2	赤目になった人物の画像を 補正	p.57
	リサイズ ^{*1 *2}	画像の記録サイズを変更	p.56
	トリミング ^{*1 *2}	画像の必要な部分だけを切 り取り	p.56
	インデックス	複数画像を1枚に貼り付け て保存	p.58
~	プロテクト	画像を誤って消去しないよ うに保護	p.65
D	DPOF *1 *2	画像に印刷枚数と日付を設 定	p.68
►	スライドショウ	画像を連続再生	p.53
Ŗ	マニュアル WB 登録 ^{*1}	撮影済み画像のホワイトバ ランス設定値をマニュアル ホワイトバランスに登録	p.44

項目		機能	参照
 w	クロスプロセス 登録	カスタムイメージ/スマー トエフェクトのクロスプロ セスで撮影した画像の設定 値をお気に入りに登録	p.47
USER	スマートエフェ クト登録 ^{*1}	お気に入り写真の撮影設定 をクイックダイヤルに登録	p.63
RAW	RAW展開 ^{*3}	RAW画像をJPEGに変換	p.60
20	動画編集 ^{*4}	動画を分割または不要部分 を消去	p.59
®	Eye-Fi画像 転送	Eye-Fiカード使用時に、画 像を選択して転送	p.67

*1 動画表示時は実行不可

*2 RAW画像表示時は実行不可

*3 RAW画像保存時のみ実行可

*4 動画表示時のみ実行可

50

再生方法を変更する

複数画像を表示

撮影した画像を複数枚(4/9/30/56画像)ずつ表示します。 (初期設定:9画像表示)

1 再生モードで ● 左 複数画像表示



ボタン・ダイヤル操作

選択画像が1画像表示

▲▼◀►	選択枠を移動	
(NFO	複数画像表示 選択画面	9画像表示 9画像表示 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● 100-0505
靣	選択消去	

選択して消去する

1「複数画像を表示」の手順1の画面で面を押す

2 消去画像を選択



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	選択枠を移動
OK	消去画像を選択/解除
NI IIIIIII	選択画像を1画像表示 ◀▶で画像切り替え

3 面を押す

消去の確認画面が表示

4 「選択消去」を選択、∞を押す

- ・一度に選択できるのは、100画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。

フォルダーごとに表示

 「複数画像を表示」の手順1の 画面で●左
 フォルダー表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	選択枠を移動
Ē	フォルダー消去

2 ₪を押す

フォルダー内画像が表示

フォルダーを消去する

1 「フォルダーごとに表示」の手順1の画面で消去フォ ルダーを選択、毎を押す

消去の確認画面が表示

2「消去」を選択、◎を押す

フォルダーとフォルダー内画像が消去 フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、す べて消去/すべて残すを選択

撮影日ごとに表示

撮影した日付ごとに画像を表示します。

- 7 「複数画像を表示」の手順1で 100 を押す 複数画像表示選択画面が表示
- 2 「撮影日別表示」を選択
- 選択した日付の画像枚数



ボタン・ダイヤル操作

▲ ▼	撮影日選択
4 ►	撮影日内の画像を選択
●右	選択画像を1画像表示
Ō	選択画像を消去

3 ∞を押す

選択画像が1画像表示

❷注意

 メモリーカードに 100000 枚以上のファイルがある場合は、 撮影日別表示はできません。

4 再生

連続して再生(スライドショウ)

1 再生モードパレットで 回を選択 スライドショウ開始

ボタン・ダイヤル操作

OK	一時停止/再開	
•	前の画像を表示	
►	次の画像を表示	
▼	停止	

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

◎メモ

 スライドショウの表示間隔/画面効果/繰返し再生/動画 自動再生について変更するときは、▶1メニュー「スライド ショウ」で設定します。この画面からスライドショウを開始 することもできます。

画像を回転して表示

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加されます。 ▶1メ ニュー「画像の自動回転」がオン(初期設定)に設定されてい るときは、再生時に回転情報に従って表示されます。 回転情報は、以下の手順で変更できます。

1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで 〇を選択 画像を90°ずつ回転させた画面が表示

3 ▲ ▼ ∢ ▶ で回転方向を選択、 ◎ を押す 回転情報が更新



❷注意

- C3メニュー「14. 回転情報の記録」をオフに設定した状態で 撮影すると、画像に回転情報が付加されません。
- 次のときは、回転情報を変更できません。
 - プロテクトされた画像
 - 回転情報タグがない画像
 - ・
 ・
 1メニュー「画像の自動回転」がオフに設定されている
 とき
- 動画は回転できません。

4

再

4

AV機器と接続

ビデオ端子/HDMI端子を備えたテレビなどと接続し、画像を 再生できます。

接続する機器の端子によって、以下のケーブルを用意してくだ さい。

AV機器の端子	使用するケーブル
ビデオ端子	AVケーブルI-AVC7(別売)
HDMI端子	HDMI端子(タイプD)を備えたHDMI ケーブル(市販品)

AV機器とカメラの電源を切る

4

2 カメラの端子カバーを開き、PC/AV 端子または HDMI端子にケーブルを接続する



3 ケーブルのもう一方の端子をAV 機器の映像入力端 子に接続する

4 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがビデオモード/HDMIモードで起動、AV機器にカ メラの情報が表示

❷注意

- ビデオ出力の場合、AV 機器の対応解像度にかかわらず、通常の解像度になります。ハイビジョンで出力する場合は、 HDMI出力を利用するか、パソコンでへ転送して再生してください。
- AV 機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で音量を調節してください。
- ・ ビデオ出力とHDMI出力を同時に行うことはできません。

- ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続 する映像入力端子を選択してください。
- 長時間使用するときは、AC アダプターキット(別売)のご 使用をお勧めします。
- 初期設定 (p.25) で現在地を設定すると、その地域に合った ビデオ出力方式が設定されます。また、▲1メニュー「ワー ルドタイム」で目的地を設定すると、その都市の出力方式に 切り替わります。国や地域によっては、設定されたビデオ出 力方式では、うまく映らない場合があります。その場合は、 ▲2メニュー「外部接続」の「ビデオ出力」で設定を変更し てください。現在地/目的地で設定できる都市のビデオ出力 方式は、「都市名一覧」(p.82) を参照してください。
- ・ HDMI出力方式は、AV機器とカメラが対応する最大サイズが 自動で選択されます。うまく映らない場合は、▲2メニュー 「外部接続」の「HDMI出力」で設定を変更してください。

パソコンと接続する

付属のUSBケーブルI-USB7を使用してパソコンと接続します。

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源を切る

3 カメラの端子カバーを開き、PC/AV端子にUSBケー ブルを接続する



4 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5 カメラの電源を入れる

カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識 カメラの電源を入れたときに「Q7」ダイアログが表示され た場合は、ダイアログ内の「フォルダを開いてファイルを 表示するエクスプローラ使用」を選択してOKボタンをク リック

6 カメラの画像をパソコンに保存

7 カメラをパソコンから取り外す

❷注意

パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてくだい。

◎メモ

本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、p.83を参照してください。



画像を加工・編集する

画像のサイズを変更

❷注意

- リサイズ/トリミングが実行できるのは、本機で撮影した JPEG画像のみです。
- 本機で最小サイズにリサイズ/トリミングされた画像は実行できません。

記録サイズを変更する(リサイズ)

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで■2を選択 記録サイズ選択画面が表示
- 3 **∢ ▶ で記録サイズを選択、 ◎ を押す** 元の画像より1つ小さいサイズ から選択可





画像の一部を切り取る(トリミング)

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで回を選択 トリミング範囲指定画面が表示

3 トリミングする大きさ/範囲を指定



ボタン・ダイヤル操作

	トリミングサイズ変更
▲▼◀►	トリミング範囲移動
	アスペクト比変更
0	トリミング範囲回転(可能時のみ)

4 🛯 を押す

5「新規保存」を選択、◎を押す

赤目を補正

フラッシュ撮影で人物の目が赤く写ってしまった画像を補正 します。

- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで ♥を選択 赤目が特定できなかった場合は、「正しく処理できません でした」と表示
- 3「新規保存」を選択、四を押す

❷注意

・ 赤目補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。

デジタルフィルターで加工

- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで 0 を選択 フィルター選択画面が表示
- **3**▲▼◀▶ でフィルターを選 択

●で画像切り替え可



ベースメイク	ポスタリゼーション
トイカメラ	スリム
ハイコントラス	フィッシュアイ
シェーディング	レトロ
ドラマチックアート	デッサン
ネガポジ反転	ミニチュア
色抽出	ソフト
ソリッドモノカラー	クロス
水彩画	

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

4 図を押す

パラメーター設定画面が表示

▲ ▼ でパラメーターを選択、
 ◆ で調整
 選択したフィルターによって設定できるパラメーターが異なります。



6 @を押す

保存の確認画面が表示

7フィルターを重ねる/新規保存を選択、®を押す 続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィル ターを重ねる」を選択。手順3の画面に戻る

❷注意

 デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影した JPEG/RAW画像のみです。

◎メモ

 フィルターは撮影時デジタルフィルター (p.47) も含めて、 通算20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

- フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じ フィルターを適用します。
- 1 1画像表示でデジタルフィルター画像を表示
- 4 再

4

2 再生モードパレットで 🛛 を選択

3 [フィルターを再現する]を 選択、 ©を押す 選択画像に設定済みのフィル ターの履歴が表示



4 パラメーターを確認する場合は(NEO)を押す 再度(NEO)を押すと元の画面に戻る



5 **図を押す** 画像選択画面が表示 6 ● でフィルター処理する画像を選択、◎を押す フィルター処理されていない画像のみ選択可



7「新規保存」を選択、◎を押す

◎メモ

 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルター を設定する前の画像を呼び出すことができます。

複数画像を貼り付け(インデックス)

複数の画像を1枚に貼り付けた画像を作成します。

1 再生モードパレットで 記を選択 インデックス設定画面が表示

2 「配置」を選択 ■ (サムネイル) / ■ (スク エア) / ■ (ランダム1) / ■ (ランダム2) / 図 (ランダム3) / ஊ (バブル) から選択



3 「枚数」を12/24/36から選択

保存画像の数が選択枚数より少ない場合、「配置」が**1000** ときは空欄、それ以外は画像が重複して表示

4 「背景」を白/黒/木目/コルク/水面から選択

5 [選択] で画像の選択方法を選択

₽ ₽	全画像から自動的に選択
□≝り画像選択	1画像ずつ選択 続けて「画像選択」を指定
⑦ フォルダー 選択	指定したフォルダーから自動選択 続けて「フォルダー選択」を指定

6「画像作成」を選択、🗅を押す

インデックス画像が表示

7 保存∕再シャッフルを選択、◎を押す

「再シャッフル」は、画像を選び直して新たなインデック ス画像を作成

◎メモ

 インデックス画像は、「INDXxxxx.JPG」というファイル名で 保存されます。

動画の編集

1 1画像表示で対象動画を表示

2 再生モードパレットで ※を選択 動画編集画面が表示

3 分割箇所を指定

画面上部に分割位置の先頭コマ が表示 4箇所(5分割)まで指定可



ボタン・ダイヤル操作

A	再生/一時停止
•	(一時停止中)コマ送り
▶長押し	早送り再生
•	(一時停止中)コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
Ø	分割位置指定/解除
	音量調節

消去しない場合は、手順7へ



消去指定画面が表示

5 **∢ ▶ で選択枠を移動、 ◎ を押** す 消去範囲を選択(複数選択可) 再度 ◎ を押すと、選択解除



6 💷を押す

手順3画面に戻る

7 亟を押す

保存確認画面が表示

8「新規保存」を選択、🖾を押す

◎メモ

分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向(後ろから前)に順に指定します。途中に分割位置を追加/解除はできません。

RAW展開

RAW画像をJPEG形式に変換して保存します。

1 再生モードパレットで™を選択 処理単位選択画面が表示

2 処理単位を選択、◎を押す

1画像展開	1枚のみ展開
複数画像選 択展開	最大500枚までの画像を同一設定で展開
フォルダー 選択展開	1フォルダー内の画像を最大500枚まで同 一設定で展開

|1画像展開」は手順5へ 画像選択/フォルダー選択画面が表示

3 画像/フォルダーを 🛽 で選 択

「複数画像選択展開」の場合は、 500枚まで選択可。選択が完了したら を押す パラメーター設定方法選択画面 が表示



4

4 パラメーター設定方法を選 択、◎を押す



撮影時の設定で 展開	記録設定のみ設定
設定を変更して 展開	記録設定/ホワイトバランス/カスタ ムイメージ/デジタルフィルター/増 減感/高感度NR/シャドー補正/ディ ストーション補正を設定

5 ▲▼で変更するパラメーターを選択、 ◀▶ で値を変更

「記録設定」は▶を押してから ▲▼で項目選択 ホワイトバランス/カスタムイ メージ/デジタルフィルターは、 、 ついつ声でがま二

▶で設定画面が表示

6 @を押す

保存確認画面が表示

7 「新規保存」を選択、◎を押す

「1画像展開」の場合は継続/終了を選択、∞を押す

❷注意

• RAW展開できるのは、本機で撮影したRAW画像のみです。

- 手順2で複数画像選択展開/フォルダー選択展開を選択した 場合は、新たな番号の「xxxR_JPG」フォルダーが作成され、 JPEG画像が保存されます。
- 付属ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE」を 使用すると、パソコンでRAW展開ができます。

カメラの設定

○∕●の機能を設定

D3

▲3メニュー「グリーンボタン」で●と●の機能を変更できます。

○の動作を設定する

●に以下のいずれかの機能が割り当 てられます。

グリーンボタン	
○ グリーンボタン	
©ブレビュー	
コワンタッチRAW+	
回AEロック	
🕼 AF作動	
即取消	國決定

設定	機能
グリーンボタン	調整中の値をリセット(初期設定)
プレビュー	押している間、設定した絞り値まで 絞って被写界深度を確認
ワンタッチRAW+	「記録形式」の設定にかかわらず、一時 的に記録形式を変更 撮影ごとに解除するかと、●を押した ときの記録形式を選択
AEロック	露出を記憶
AF作動	シャッターボタン半押しを無効にし、 ●を押したときだけオートフォーカス を行う

ワンタッチRAW+を設定する

1 □3 メニュー「グリーンボタン」で「ワンタッチ RAW+」を選択

2 「撮影毎に解除」 の 🗹 / 🗆 を切り替え

□ 1回撮影するたびに「記録形式」の設定に戻る(初期設定)
 □ 以下の操作を行うまで設定を継続
 • 再度 ● を押す
 • E / (UND / CND / 電源ボタンのいずれかを押す
 • モードダイヤルを回す

3 各記録形式に対する ○ を押 したときの記録形式を選択 左が「記録形式」の設定、右が ○を押したときの記録形式



Pモードのの動作を設定する

Pモードのときに⇔で変更する値を設定します。

1 □3メニュー「グリーンボタン」で「グリーンボタン」を選択

2 [P時の電子ダイヤル]で設定 を選択

∫◎グリーンボタン	P SHIFT
◎グリーンボタン	P → Tv
M/TAv時の動作	P → Av
P時の電子ダイヤル ◆	OFF
適正露出となる絞り	きと
シャッター速度の組合	させを
シフトさせます	100決定

P SHIFT	シャッター速度/絞り値の組み合わせが適正 露出になるようシフト(プログラムシフト) (初期設定)
P⇒Tv	シャッター速度を設定(シャッター優先自動 露出)
P⇒Av	絞り値を設定(絞り優先自動露出)
OFF	▶ モード時の 중 操作無効

◎メモ

●を操作後に●を押すと、通常のPモードの設定に戻ります。

M / TAv モードの Oの動作を設定する

- M / TAv モードのときの Oの動作を設定します。
- 1 ▲3メニュー「グリーンボタン」で「グリーンボタン」を選択
- **2**「M/TAv 時の動作」で設定を 選択

∫ ● グリーンボタン	PLINE
● グリーンボタン	Tv SHIFT
M/TAv時の動作	Av SHIFT
P時の電子ダイヤル	OFF
絞り値とシャッター速 プログラムライン上の 適正露出にします TEXD取消	度を 100決定

PLINE	絞り値/シャッター速度をプログラムライン 上の適正露出に調整(初期設定)
Tv SHIFT	絞り値固定のままシャッター速度をシフト
Av SHIFT	シャッター速度固定のまま絞り値をシフト
OFF	M/TAvモード時の〇操作無効

お気に入り画像の設定を登録

お気に入りの画像が撮影できたら、その画像の撮影設定がいつ でも利用できるように登録しておくことができます。

1 再生モードの1画像表示で対象画像を表示

- 2 再生モードパレットで 一個を選択 設定変更画面が表示
- 3 必要に応じてホワイトバラン ス/カスタムイメージ/デジ タルフィルターを登録 設定を登録しない場合は「--」 を選択



ボタン・ダイヤル操作

▲ ▼	機能選択	
	値変更	
	画像切り替え	
0	リセット	

4 ◎を押す

登録確認画面が表示

5 登録する番号を選択、図を押 す 選択画像の撮影設定と画像が



登録した設定を利用する

USFR1~3に登録

登録した設定を撮影時に呼び出します。

- 1 ☎3メニュー「クイックダイヤル」を選択
- **2** 「クイックダイヤル」 画面で「スマートエフェクト」 を選択
- **3** ダイヤルのポジション1~4 に USER1 / USER2 / USER3を登録



4 撮影待機状態でクイックダイヤルのポジジョン1~ 4を選択

登録した撮影設定が呼び出される

◎メモ

•「クイックダイヤル」の詳細は、p.48を参照してください。

目的地の日時を表示

初期設定(p.25)で設定した日時は現在地の日時として設定され、画像の撮影日時に反映されます。

現在地とは別に目的地を設定すると、海外で使用する際に画像 モニターに目的地の日時を表示し、画像に現地時間を記録でき ます。

┦ ◀1メニュー「ワールドタイム」を選択

2「時刻切替」で表示する時刻 を選択 ☆(現在地) / →(目的地)

「ワールドタイム			٦
時刻切替	٩	*)>	Þ
→目的地		DS	Ĩ
		00	
☆現在地			
東京	10:	00	
en s			

31

- 3 ▼で「+目的地」を選択、▶を押す 「+目的地」画面が表示
 - ◆ で都市を選択

 ● で地図表示切り替え



5 ▼で「夏時間」を選択、◀▶で□/⊠を設定 6 ®を押す

「ワールドタイム」画面に戻る

5設定

◎メモ

- 現在地/目的地に指定できる都市は、「都市名一覧」(p.82) を参照してください。
- 「時刻切替」を
 →に設定すると、コントロールパネルとガイ ド表示に
 →と目的地の日時が表示されます。またビデオ出力 方式は、その都市の初期設定に切り替わります。

カメラに保存する設定を選択

D3

本機で設定した機能は、ほとんどが電源を切っても記憶されて います。以下の機能については、電源を切ったときに記憶する (☑) か初期設定に戻す(□) かを選択できます。 ▲3メニュー「モードメモリ」で設定します。

機能	初期 設定	
フラッシュモード	N	フラ
ドライブモード	N	フォー
ホワイトバランス	V	デジク
カスタムイメージ		HDR
ISO感度	N	再生性
露出補正		

機能	初期 設定
フラッシュ光量補正	
フォーカス位置	
デジタルフィルター	
HDR撮影	
再生情報表示	

◎メモ

◆3メニュー「リセット」を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

画像管理に関する設定

画像を消去できないようにする (プロテクト)

画像を誤って消去しないようにプロテクト(保護)します。

❷注意

- プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると消去されます。
- **1 再生モードパレットで~ を選択** 処理単位選択画面が表示
- **2 処理単位を選択、 ©を押す** 「全画像」選択時は、手順4へ
- 3 ●で画像を選択



4 「ブロテクト」を選択、◎を押す 他の画像もプロテクトするときは、手順3~4を繰り返す

5 終了するときは 💷 を押す

フォルダー/ファイルNo.の設定

****2

フォルダー

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が 保存されます。フォルダー名には、100~999の連番と5文字の 文字列が付きます。フォルダー名の文字列は、▲2メニュー 「フォルダー名」で選択できます。

日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が2桁で付く (初期設定) 月日は「日時設定」の表示スタイルに準じる 例)101_0125・・・1月25日に撮影
PENTX	フォルダー番号の後ろに「PENTX」の文字列が付 く 例)101PENTX
フェルズ	タも亦声すると 新たれ釆早のフェルガ お佐式さ

フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成されます。

◎メモ

- 1つのフォルダーには、最大500枚(Eye-Fiカードは最大100枚)の画像が保存されます。撮影枚数が500枚を超えると、次の番号のフォルダーが作成されます。ただし、露出ブラケット撮影では、撮影が終了するまで同じフォルダーに保存されます。
- ◆2メニュー「フォルダー新規作成」を選択すると、次の番号のフォルダーを新しく作成することができます。この操作で作成できるフォルダーは1つのみで、複数のフォルダーを続けて作成することはできません。
- •「RAW展開」の複数画像選択展開/フォルダー選択展開を実 行したときは、新たな番号の「xxxR_JPG」フォルダーが作 成され、JPEG画像が保存されます。(p.60)

❷注意

フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダー使用時に、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル名の番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。

ファイルNo.

ファイル名には、4文字の文字列の後 に0001~9999の連番が付きます。 フォルダーが新しくなったときに ファイル番号を継続するかどうかを ~2メニュー「ファイルNo.」の「連 番設定」で設定できます。



✓	う 初 男 学 一 が 新 し く な う と も 画 像 の ファイ ル 番 号 を 経 売 (初 期 設 定)
	フォルダーが新しくなるたびに、画像のファイル番号 を 000 1から開始

「ファイルNo.リセット」を実行すると、ファイル番号がリセットされます。

- ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。
- ファイル名の先頭には、C3メニュー「13. 色空間」の設定によって以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	IMGPxxxx.JPG
AdobeRGB	_IMGxxxx.JPG

画像を無線LANで転送

無線LAN機能を内蔵したメモリーカード「Eye-Fiカード」を使用している場合は、無線LAN経由でパソコンなどに画像が転送できます。

Eye-Fiカード使用時の動作を、▲2メ ニュー「Eye-Fi」の「Eye-Fi通信」で 設定できます。



₹2

オート	画像が撮影または新規保存するたびに自動的に転送 動画は2GB以下の場合のみ転送
セレクト	転送する画像を必要に応じて再生モードで指定 転送できるのはJPEG/RAWのみ
オフ	無線LAN機能を停止(初期設定)

❷注意

- Eye-Fiカードを接続する無線LANアクセスポイントは、パソ コンで設定してください
- Eye-Fiカードの仕様と設定によって、RAWと動画が転送できるかどうかが異なります。
- バッテリー残量が少ないと、転送できない場合があります。
- 大量の画像を転送する場合は、時間がかかることがあります。また、カメラ内が高温になると、電源が切れることがあります。
- Eye-Fiカードに関する注意事項は、「Eye-Fiカードについて」 (p.91)を参照してください。

◎メモ

・ Eye-Fiカードをセットしていないときは、▲2メニュー「Eye-Fi」は選択できません。

- Eye-Fiカード使用時は、1フォルダーに100枚ずつ保存されます。 RAW+の画像は2ファイルで1枚とみなされます。
- ・「通信情報」を選択すると、Eye-Fi カードのバージョンが確認できます。

転送する画像を指定する

画像を選択して転送します。

- 1 ペ2メニュー「Eye-Fi」の「Eye-Fi通信」をセレクトに設定
- 2 再生モードパレットで 零を選択 処理単位選択画面が表示

3 処理単位を選択、∞を押す

画像選択	同一フォルダー内、最大100枚まで選 択
フォルダー選択	1フォルダー内の転送可能な全画像を 転送

フォルダー選択画面が表示

4 フォルダーを選択、 🛽 を押す

画像選択画面が表示 「フォルダー選択」の場合は、手順7へ

う画像を選択

転送済み画像や動画は選択不可



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	選択枠を移動
	1画像表示
OK	転送オン/オフ

6 MIDを押す

確認画面が表示

7 「転送」を選択、∞を押す

メッセージ表示後、1画像表示に戻る

印刷情報を設定(DPOF)

メモリーカードに画像のプリント枚数と日付印刷の情報 (DPOF)を設定できます。DPOFを設定したメモリーカードを プリント取扱店に持っていくと、従来の写真のようにプリント が注文できます。

1 再生モードパレットでふを選択

処理単位選択画面が表示

2 処理単位を選択、 🛽 を押す

1画像	画像ごとに枚数・日付を設定
全画像	全画像に同一の設定(1画像の設定は解除)

3 枚数/日付を指定 複数画像を指定可



ボタン・ダイヤル操作

	(1画像)画像切り替え
▲ ▼	枚数指定(最大99枚)
Ø	日付印刷オン/オフ

枚数指定した画像は
し表示

4 ®を押す

- RAW画像と動画は設定できません。
- ・ DPOFが設定できるのは、最大999画像です。

撮影モードの機能制限

撮影モード		撮影モード SCN															
機能		AUTO	22	▲ <u>**</u> ■ © *	* 🖬 (M) 11 ©	¥.	HDR	Ċ.	<u>æ</u>	y r	ž	Ŷ	圇	BC	Bulb	, ,	
ISO感度		AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	×	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定		\sim ISO 1600		
フラッシュ		5^ ③ のみ	歩 ම のみ	×	5^ ③ のみ	∲^ ③ のみ	×	∲^ ③ のみ	∲ ③ のみ	×	歩 ම のみ	×	×			×	
	1⊐⊽	7撮影					×				×	×					×
الخ	連続撮影						랙앱 固定 ^{*1}	×		×	례역 固定 ^{*1}	례역 固定 ^{*1}			×	×	×
	セルフタイマー						×				×	×					×
ノイブ	リモコン	即/3秒					×				×	×					
Ē		連続撮影					×	×		×	×	×			×	×	×
۲	露出ブラ	ラケット					×	×		×	×	×			×	×	×
	多重	露出					×	×		×	×	×			×		×
	インター	バル撮影					×	\bigtriangleup		×	×	×			×	×	
フォーカスモード		@ 固定	◎ 固定			回定		回定		固定	◎ 固定	回定					
記録形式 RAW/ RAW+							×		×							×	
ShakeReduction							×								×		

*1 JPEG時間、RAW/RAW+時間

6付録

撮影モード		SCN													
機能	AUTO	22	▲ <u>₩</u> ■©	* 5 @Y1 &	¥.	HDR	ŧ.	<u>æ</u>	y a	ž	Ŷ	盦	BC	Bulb	Ĭ.
ホワイトバランス	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定			
カスタムイメージ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
デジタルフィルター						×									
スマートエフェクト															
HDR撮影						専用 設定		×					×	×	×
バッファ RAW保存					×	×			×	×					×
特殊機能の組み合わせ制限

		連続撮影	露出ブラケット	多重露出	インターバル 撮影	デジタル フィルター	スマート エフェクト	HDR撮影	
フラッシュ								×	
	連続	撮影		×	×	×			×
ドライブモー	セルフタイマー		×	×	×	×			
	リモコン連続撮影		×	×	×	×			×
	露出ブラケット		×		×	×			×
۲	多重	露出	×	×		×	×	×	×
	インター	バル撮影	×	×	×				
記録形式 RAW/ RAW+		凹固定		×				×	
カスタムイメージ							×		
デジタルフィルター				×			×	×	
スマートエフェクト				×		×		×	
バッファ RAW保存		×	×	×				×	

各種レンズ使用時の機能

Aグループ	01 STANDARD PRIME(単焦点) 02 STANDARD ZOOM(ズーム) 06 TELEPHOTO ZOOM(ズーム)
Bグループ	04 TOY WIDE(広角) 05 TOY TELEPHOTO(望遠) 07 MOUNT SHIELD
Cグループ	03 FISH-EYE(魚眼)
Dグループ	Kマウントレンズ用アダプター Q使用

O:使用可 △:機能制限あり ×:使用不可

レンズ種類 機能	A グループ	B グループ	C グループ	D グループ
AF	0	×	×	×
MF	0	0 ^{*1}	0	0
クイックシフトフォーカス	0	×	×	×
AF方式	0	×	×	×
絞り制御	0	×	×	*2
レンズ内蔵NDフィルター	0	×	×	×
レンズ内蔵シャッター	0	×	×	O ^{*3}
電子シャッター	O ^{*4}	0	0	O ^{*4}
${\rm AUTO}/{\rm SCN}/{\rm BC}{\equiv}-{\rm K}$	0	△*5	△*5	∆*2
P∕Tv∕Av モード	0	△*5	△*5	∆*2
Mモード	0	∆*5*6	∆*5*6	∆*2
₩ モ ード	0	△*5	△*5	∆*2
P-TTLオートフラッシュ	O*7	O ^{*8}	∆*8*9	△*8 *10

- *1 07 MOUNT SHIELDはピント合わせ機構なし
- *2 絞り手動設定
- *3 アダプターに内蔵されているレンズシャッターを使用
- *4 C1メニュー「1. レンズシャッターの動作」を「電子シャッターとの 併用」または「電子シャッターのみ使用」に設定。「電子シャッター との併用」に設定した場合、レンズ内蔵シャッターよりも高速側を 電子シャッターで撮影

例) 01 STANDARD レンズの場合 1/2000秒以下はレンズ内蔵シャッターで撮影、1/2000秒超~を 電子シャッターで撮影

- *5 絞り固定
- *6 Bulbモード不可 シャッター速度の低速側は2秒まで
- *7 内蔵フラッシュ=1/2000秒、外付けフラッシュ=1/250秒
- *8 フラッシュ同調速度は約1/13秒
- *9 配光ムラが生じる
- *10 配光ムラが生じる場合がある

内蔵フラッシュとの適合

レンズによって、内蔵フラッシュの使用に制限があります。

レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
02 STANDARD ZOOM	Wide端でケラレ発生のため、焦点 距離6mm以上で使用
03 FISH-EYE	ケラレ発生のため、内蔵フラッ シュ使用不可

フードについて

02 STANDARD ZOOM にフードを使用する場合は、PH-RBB 40.5mmを利用してください。PH-SBA 40.5mmでは、Wide端 でケラレが発生する場合があります。

フィルターについて

02 STANDARD ZOOM にPL100 フィルターを使用した場合、 Wide端でケラレが発生します。

Κマウントレンズを利用する

別売のKマウントレンズ用アダプターQを利用すると、本機に Kマウントレンズを取り付けることができます。その場合 「Shake Reduction」などに必要な焦点距離が自動で取得できな いため、手動で設定する必要があります。

1 カメラの電源を切る

2 カメラにアダプターとレンズを装着し、電源を入れ る

「焦点距離入力」画面が表示

3 レンズ焦点距離を指定



ボタン・ダイヤル操作

◆ 桁選択
 ● 数値--

数値一覧から選択

ズームレンズ使用時は、ズームの焦点距離を設定

4 ∞を押す

撮影待機状態に戻る

◎メモ

- ・レンズ焦点距離は、▲2メニュー「焦点距離入力」で変更できます。
- Kマウントレンズ用アダプターQを使用すると、Mモード以 外の撮影モードはAvモードで動作します。
- 詳細は、Kマウントレンズ用アダプターQの使用説明書を参照してください。

外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュ AF540FGZ / AF360FGZ / AF200FG / AF160FCを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などの さまざまなフラッシュ撮影ができます。

フラッシュ カメラの機能	内蔵 フラッシュ	AF540FGZ AF360FGZ	AF200FG AF160FC
赤目軽減機能	0	0	0
フラッシュ自動発光	0	0	0
同調速度への自動切り替え	0	0	0
$\mathbf{P} / \mathbf{T} \mathbf{v}$ モードで絞り値自動セット	0	0	0
P-TTLオートフラッシュ撮影	0	0	0
スローシンクロ撮影	0	0	0
フラッシュ光量補正	0	0	0
オートズーム連動	×	0	×
外付けフラッシュのAF補助光使 用	×	×	×
後幕シンクロ撮影 ^{*1}	0	0	×
光量比制卸モード	×	×	×
スレーブ機能	×	×	×
ワイヤレス撮影	×	×	×

O:使用可 ×:使用不可

*1 01 STANDARD PRIME / 02 STANDARD ZOOM / 06 TELEPHOTO ZOOMは 1/2000秒以下(外付けフラッシュ時は1/250秒以下)、03 FISH-EYE / 04 TOY WIDE / 05 TOY TELEPHOTO / 07 MOUNT SHIELD は 1/13秒以下

❷注意

- 外付けフラッシュを接続したときは、内蔵フラッシュは発光しません。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合 があります。

◎メモ

・本機のホットシューに外付けフラッシュを直接取り付ける と、重心がずれて撮影しにくくなります。図のようにカメラ のホットシュー部分にホットシューアダブターFa(別売) を、外付けフラッシュの下にオフカメラシューアダブターF (別売)を付け、延長コードF5P(別売)で接続します。オ フカメラシューアダブターFには三脚取り付け用のねじがあ るので、三脚に固定できます。



• AF160FC の発光部をカメラに取り付ける場合は、市販のス テップアップリングなどを利用してください。

困ったときは

◎メモ

 静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないこと があります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみ てください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
霊酒がしらたい	バッテリーが正し く入っていない	バッテリーの挿入方向を確認 してください。
电源が入りない	バッテリーの残量 がない	バッテリーを充電してくださ い。
	内蔵フラッシュが 充電中	充電が完了するまで待ってく ださい。
シャッターがきれ ない	メモリーカードに 空きがない	空き容量のあるメモリーカー ドをセットするか、不要な画 像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってくだ さい。
ピントが合わない	オートフォーカス が苦手なものを被 写体にしている	コントラストが低いもの(青 空や白壁など)、暗いもの、細 かい模様のも窓や、速く動いて いるもの、窓やネット越しの 風景などは、AFが苦手なもの です。 撮りたいものと同じ距離にあ る別のものにフォーカスロッ クしてから、撮りたい構図で 撮影します。または、MFを使 用してください。(p.37)
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してく ださい。

現象	原因	対処方法
フォーカスロック	「AF方式」が III になっている	「AF方式」を 20 / 翻 / ■ / ■ / ■ / □ に設定してください。 (p.36)
ぐさんい	SCNモードのミノ 記/L/IIに なっている	これらは「AF方式」か ■ 固定 です。左記以外の撮影モード に設定してください。
内蔵フラッシュが	フラッシュモード が 4 / 4 になっ ているときは、被 写体が明るいと発 光しません	フラッシュモードを変更して ください。(p.34)
発光しない	SCNモードの▲/ 塗/鋼/鋼/ HDR/1、/勁/ 挙/配/血に なっている	これらは ④固定です。 左記以 外の撮影モードに設定してく ださい。
パソコンと接続し ても認識されない	転送モードが 「PTP」になって いる	▲2メニュー「外部接続」の 「USB接続」を「MSC」に設定 してください。
撮影設定が変更で きない	クイックダイヤル がポジション1〜 4になっている	クイックダイヤルを使って撮 影しているときは、登録され ている設定が優先されます。
画像にゴミが写り 込む	CMOSセンサーに 汚れやほこりが付 着している	▲4メニュー「ダストリムーバ ル」を実行してください。電 源ON/OFF時に毎回作動させ ることもできます。 なお、ブロアーで清掃する場 合は、ブラシが付いていない ものを使用してください。ブ ラシを使用するとCMOSセン サーが傷つくことがあります。 また、CMOSセンサーは絶対 に布で拭かないでください。

現象	原因	対処方法
撮影画像や画像モ ニターの表示に、 欠けや常時点灯す る箇所がある	CMOSセンサーの 画素に欠けがある	01 STANDARD PRIMEなど、 シャッター内蔵のレンズにレ ンズキャッブを取り付け、▲4 メニュー「ピクセルマッピン グ」を実行してください。 補完処理は30秒ほど時間がか かるので、十分に充電した バッテリーを使用してくださ い。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量が ありません	メモリーカードの容量いっぱいに画像が 保存されていて、これ以上画像が保存で きません。新しいメモリーカードをセッ トするか、不要な画像を消去してくださ い。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存 されていません
この画像を 表示できません	本機で再生できない画像を再生しようと しています。パソコンでは表示できる場 合があります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影/再生と もにできません。パソコンでは表示でき る場合があります。 Eye-Fiカード使用時に、Eye-Fi機能の初 期化が失敗しました。◎を押してくださ い。
カードがフォーマット されていません	フォーマットされていないメモリーカー ドがセットされているか、他の機器で使 用したメモリーカードがセットされてい ます。本機でフォーマットしてから使用 してください。
カードが ロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされ たメモリーカードがセットされていま す。(p.90)
この画像を拡大表示 できません	拡大できない画像を拡大表示しようとし ています。
この画像は プロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクト されています。画像のプロテクトを解除 してください。(p.65)

エラーメッセージ	内容
 電池容量がたりないため ピクセルマッピングを 行えません 電池容量がたりないため アップデートを行えません 	ピクセルマッピング/アップデート実行 時にバッテリー容量が足りない場合に表 示されます。十分に充電したバッテリー を使用してください。
ファイルが壊れているため アップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため 実行できません。アップデートファイル を再度ダウンロードしてください。
フォルダーが作成できません	最大のフォルダー No. (999) /ファイ ルNo. (9999) が使用されているため、 画像が保存できません。新しいメモリー カードをセットするか、メモリーカード をフォーマットしてください。
画像を保存 できませんでした	メモリーカードの異常で、撮影した画像 が保存できません。
設定を正しく 保存できませんでした	メモリーカードが容量いっぱいまで使用 されていて、DPOF設定が保存できません。不要な画像を消去して、再度DPOF を設定してください。(p.68)
正しく処理できませんでした	マニュアルホワイトバランス調整に失敗 しました。もう一度やり直してくださ い。
これ以上 選択できません	インデックス/選択消去/RAW展開/ Eye-Fi画像選択/DPOFは、上限枚数以 上は選択できません。
処理できる 画像がありません	デジタルフィルターを適用できる画像、 またはRAW展開できる画像がありませ ん。
この画像を 処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してリサ イズ/トリミング/赤目補正/デジタル フィルター/動画編集/RAW展開/マ ニュアルWB登録/スマートエフェクト 登録を実行した場合、または最小サイズ の画像に対してリサイズ/トリミングを 実行した場合に表示されます。

エラーメッセージ	内容
画像の作成に 失敗しました	インデックスで画像の作成に失敗しまし た。
このモードでは 設定することができません	機能に制限がある撮影モードのときに、 設定できない機能を設定しようとしてい ます。(p.69)
カメラが高温になりました 電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が 切れます。しばらくしてから電源を入れ てください。
Eye-Fi通信設定を セレクトにしてください	▲2メニュー「Eye-Fi」の「Eye-Fi通信」 がセレクトに設定されていないため、選 択転送ができません。(p.67)
転送できる画像がありません	Eye-Fiカード使用時に転送可能な画像が ありません。
このフォルダーは 選択できません	選択したフォルダー内に規定以上のファ イル数があるため、選択ができません。 (p.67)

主な仕様

型式

型式	レンズ交換式デジタル一眼カメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット Qマウント
使用レンズ	Qマウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類:原色フィルター/CMOS サイズ:1/1.7型
有効画素数	約1240万画素
総画素数	約1276万画素
ダストリムーバル	超音波振動による撮像素子クリーニング機能「DR Ⅱ」
感度 (標準出力感度)	ISO AUTO 100~12800(1/3 EVステップ) ・2秒より長秒時はISO 1600まで
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式

記録形式

画像ファイル形式	RAW(DNG)、JPEG(Exif 2.3)準拠、DCF 2.0準 拠
記録サイズ(画素 数)	JPEG : 1699

画質	RAW:DNG (12bit) JPEG:★★★ (スーパーファイン)、★★ (ファイ ン)、★ (エコノミー) • RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB
記録媒体	SD/SDHC/SDXCメモリーカード、 Eye-Fiカード
記録フォルダー	日付(100_1018、100_1019・・・)/ PENTX(100PENTX、101PENTX・・・)

画像モニター

形式	TFTカラー LCD、広視野角タイプ、ARコート
イメージサイズ	3.0型
ドット数	約46万ドット
調整	明るさ調整、色調整
表示	視野率約100%、電子水準器、グリッド表示(16分 割表示、黄金分割表示、スケール表示)、白とび警 告表示、ヒストグラム表示

ホワイトバランス

オート	撮像素子によるTTL方式
プリセット	太陽光、日陰、曇天、蛍光灯(D:昼光色、N:昼 白色、W:白色、L:電球色)、白熱灯、フラッ シュ、 CTE 、マニュアル
マニュアル	モニター確認による設定(3種類登録可)、撮影画 像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

フォーカス

方式	コントラスト検出式
輝度範囲	EV 0~18 (ISO 100)
フォーカスモード	AF/MF切り替え式
AF方式	顔検出、追尾、多点オート(49点)、セレクト、ス ポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

MF時の自動拡大 オフ/×2/×4/×6

露出制御

測光方式	TTL撮像センサー測光、分割/中央重点/スポット
露出範囲	EV 1~17(ISO 100・F 1.9レンズ使用時)、シャッ ター拡張設定で+2 EV、NDフィルター使用で+2 EV
露出モード	オートピクチャーモード(標準、人物、風景、マ クロ、夜景人物、夕景、青空、フォレスト) シーンモード(人物、風景、マクロ、動体、夜景人 物、夕景、青空、フォレスト、夜景、夜景HDR*、 ナイトスナップ、HDR*、テーブルフォト*、料理、 ベット、キッズ、サーフ&スノー、逆光シルエッ ト、キャンドルライト、ステージライト、美術館) プログラム、シャッター優先、絞り優先、マニュ アル、パルプ、ポケコントロール* *JPEGのみ
露出補正	±3 EV (1/3 EVステップ)
AEロック	メニューにて●ボタンに割り当て可能
シャッター	レンズシャッター方式:1/2000~30秒(1/3 EVス テップ、拡張設定の電子シャッター併用許可で1/ 8000~30秒)、バルブ ・レンズシャッター非搭載レンズ使用時は、電子 シャッターによる1/8000~2秒、バルブは不可
絞り	開放~F 8 ・レンズシャッター非搭載レンズは設定不可
NDフィルター	オフ/オン ・レンズシャッター非搭載レンズは設定不可

ドライブ

ドライブモード	1コマ、連続(Hi, Lo)、セルフタイマー(12秒後、 2秒後)、リモコン(即、3秒後、連続)、露出ブラ ケット(3コマ、リモコン)、多重露出(多重露出、 セルフタイマー多重露出、リモコン多重露出)、イ ンターバル
連続撮影	約5コマ/秒、JPEG (፼1⊡12M・★★★・連続Hi) 5コマまで 約1.5コマ/秒、JPEG (፼1⊡12M・★★★・連続 Lo):100コマまで

フラッシュ

内蔵フラッシュ	P-TTL内蔵フラッシュ、ガイドナンバー約4.9 (ISO 100・m)、約7(ISO 200・m)、28mmレンズ の画角(35ミリ判換算)をカバー
発光方式	P-TTL、赤目軽減、スローシンクロ、後幕シンクロ
シンクロ同調速度	レンズシャッター時:内蔵フラッシュ 1/2000秒、 外付けフラッシュ 1/250秒 電子シャッター時:1/13秒
フラッシュ光量補 正	-2.0~+1.0 EV

撮影機能

電子水準器	画像モニター表示(水平・あおり方向)
スマートエフェク ト	極彩、ソリッドモノカラー、Auto110モード、クロ スプロセス、さくらほのか、ドラマチックアート、 ハードモノクローム、水彩画、あでみやび、USER 1~3
インターバル	撮影間隔(3秒~24時間)、最大撮影枚数999枚、 開始トリガー(即時、時刻指定)
多重露出	撮影回数2~9回、自動露出調整
HDR撮影	オート、Type1、Type2
デジタルフィル ター	トイカメラ、ハイコントラスト、シェーディング、 ドラマチックアート、ネガボジ反転、色抽出、ソ リッドモノカラー、水彩画、ポスタリゼーション、 スリム、フィッシュアイ
レンズ収差補正	ディストーション補正
ダイナミックレン ジ設定	ハイライト補正、シャドー補正
ノイズリダクショ ン	高感度NR
カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅、ポップ チューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、 モノトーン、クロスプロセス

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264 (MOV)
記録サイズ	Image (1920×1080 · 169 · 30fps / 25fps / 24fps) Image (1280×720 · 169 · 30fps / 25fps / 24fps) Image (640×480 · 43 · 30fps / 25fps / 24fps)
音声	内蔵モノラルマイク、録音レベル
記録時間	最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅、ポップ チューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、 モノトーン、クロスプロセス
デジタルフィル ター	トイカメラ、ノイコントラスト、シェーディング、 ドラマチックアート、ネガポジ反転、色抽出、ソ リッドモノカラー、水彩画、ポスタリゼーション、 スリム、フィッシュアイ
インターバル	記録形式:Motion JPEG (AVI) 撮影間隔(3秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10 分、30分、1時間)、撮影所要時間12秒~99時間、 開始トリガー(即時、時刻指定)
再生機能	
再生方法	1画像、マルチ画面表示(4、9、30、56画面)、拡 大(最大16倍まで、スクロール可、クイック拡大 可)、回転表示、ヒストグラム(YEントグラム、 RGBヒストグラム)、白とび警告表示、縦位置自動 回転、詳細情報表示、フォルダー表示、撮影日別 表示、スライドショウ、Eye-Fi選択画像送信
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消 去、クイックビュー消去
デジタルフィル ター	ベースメイク、トイカメラ、ハイコントラスト、 シェーディング、ドラマチックアート、ネガボジ 反転、色抽出、ソリッドモノカラー、水彩画、ポ スタリゼーション、スリム、フィッシュアイ、レ トロ、デッサン、ミニチュア、ソフト、クロス
RAW展開	記録形式(JPEG)、アスペクト比、色空間、ホワ イトバランス、カスタムイメージ、デジタルフィ ルター、増減感、高感度NR、シャドー補正、ディ ストーション補正

カスタマイズ機能

カスタム ファンクション	16項目
モードメモリ	11項目
カスタムボタン	●ボタン(グリーンボタン、プレビュー、ワン タッチRAW+、AEロック、AF作動) クイックダイヤル(スマートエフェクト、アスペ クト比、フォーカスモード、フォーカスアシスト、 NDフィルター)
ワールドタイム	世界75都市に対応(28タイムゾーン)

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI68
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC115J(別売)
電池寿命	撮影可能枚数フラッシュ 50%発光:約250枚、 フラッシュ発光なし:約260枚 再生時間約160分 ・新品のリチウム電池使用、23°C、撮影枚数は CIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、 使用条件により変わります。

外部インターフェイス

端子	USB 2.0(ハイスピード対応)/AV出力端子、 HDMI出力端子(タイプD)
USB接続	MSC/PTP
ビデオ出力方式	NTSC / PAL

外形寸法・質量

外形寸法	約102.0mm(幅)× 58.0mm(高)× 33.5mm(厚) (吊り環、操作部を除く)
質量	約200g(専用電池、SDカード付き)、約180g(本 体のみ)

付属品

同梱物	USBケーブル I-USB7、ストラップ O-ST131、充電 式リチウムイオンバッテリー D-LI68、専用充電器 D-BC68P、ACコード、ソフトウェア(CD-ROM) S-SW133 <これ以降はカメラに装着状態で出荷> ホットシューカバー FK、ボディマウントカバー
ソフトウェア	SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE

撮影可能枚数と再生時間

(バッテリーフル充電時)

(2GBのメモリーカード使用時)

			フラッシ			
使用電源	使用温度	一般撮影	使用率50 %	使用率100 %	再生時間	
D-LI68	23°C	約260枚	約250枚	約240枚	約160分	

撮影枚数(一般撮影、フラッシュ使用率50%)はCIPA規格に準じた測定条件、その他については当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

고고 ~ 卢니나					
アスペシト氏	記録リイス	***	**	*	RAW
	L 9M	545枚	755枚	1265枚	103枚
16:9	M 5M	記録サイズ ★★★ ★★★ ★★★ □ 9M 545枚 755枚 1265枚 □ 9M 1250枚 2060枚 ⑤ 2M 2184枚 2941枚 4600枚 ⑤ 2M 2184枚 2941枚 460枚 ⑥ 771枚 1064枚 1764枚 ⑤ 2M 1872枚 2534枚 4013枚 ⑤ 1872枚 2534枚 4013枚 ⑥ 1771枚 668枚 951枚 1582枚 ⑥ 3M 1680枚 2282枚 3641枚 ⑤ 3M 1680枚 759枚 1270枚 ⑥ 9M 547枚 759枚 1200枚 ⑨ 980枚 1250枚 2060枚 1260枚	-		
	S 2M	2184枚	2941枚	4600枚	-
	L 10M	461枚	641枚	1077枚	103枚
3:2	M 6M	771枚	1064枚	1764枚	-
	通信 100 次 001 次 第2 M 6M 771枚 1064粒 第 2M 1872枚 2534粒 12M 410枚 571粒	2534枚	4013枚	-	
	L 12M	410枚	571枚	961枚	103枚
4:3	M 7M	688枚	951枚	1582枚	-
	S 3M	1680枚	2282枚	3641枚	-
	L 9M	547枚	759枚	1270枚	103枚
1:1	M 5M	908枚	1250枚	2060枚	-
	S 2M	2184枚	2941枚	4600枚	-

 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリー カード等により異なります。 録

81

都市名一覧

地域	都市名	ビデオ 出力方式		地域	都市名	ビデオ 出力方式	地域	都市名	ビデオ 出力方式
	ホノルル	NTSC] [ローマ	PAL	アフリカ	. カトマンズ	PAL
	アンカレジ	NTSC			コペンハーゲン	PAL	西アジア	ダッカ	PAL
地域 北米 中南米 ヨーロッパ	バンクーバー	NTSC			ベルリン	PAL		ヤンゴン	NTSC
	サンフランシスコ	NTSC	11		プラハ	PAL		バンコク	PAL
	ロサンゼルス	NTSC			ストックホルム	PAL	ビデオ 対方式 は 地域 アフリカ・カト 西アジア カト ダッツ レ アフリカ・ガト レ アンジア レ アンジア レ アンジア レ アジア レ アジア レ アジア レ 日 レ アジア レ 日 レ アジア レ アンジ レ	クアラルンプール	PAL
	カルガリー	NTSC	11	3-U9A	ブダペスト	PAL		ビエンチャン	PAL
山木	デンバー	NTSC	11		ワルシャワ	PAL		シンガポール	PAL
	シカゴ	NTSC	11		アテネ	PAL		プノンペン	PAL
	マイアミ	NTSC	11		ヘルシンキ	PAL		ホーチミン	PAL
	トロント	NTSC	11		モスクワ	PAL	ホマジブ	ジャカルタ	PAL
	ニューヨーク	NTSC	1 [ダカール	PAL	東アンア	香港	PAL
	ハリファックス	NTSC	11		アルジェ	PAL		北京	PAL
	メキシコシティ	NTSC	11		ヨハネスブルグ	PAL		上海	PAL
	リマ	NTSC	11		イスタンブール	PAL		マニラ	NTSC
	サンティアゴ	NTSC	11		カイロ	PAL		台北	NTSC
中南米	カラカス	NTSC	11		エルサレム	PAL		ソウル	NTSC
	ブエノスアイレス	PAL	11		ナイロビ	PAL		東京	NTSC
	サンパウロ	PAL	11	ア ノリカ・ 而アミア	ジッダ	PAL		グアム	NTSC
	リオデジャネイロ	NTSC	11	G)))	テヘラン	PAL		パース	PAL
	リスボン	PAL	11		ドバイ	PAL		アデレード	PAL
	マドリード	PAL	11		カラチ	PAL		シドニー	PAL
	ロンドン	PAL	11		カブール	PAL	オセアニス	アマーメア	PAL
3-U9A	パリ	PAL	1		マーレ	PAL		ウェリントン	PAL
	アムステルダム	PAL	1		デリー	PAL		オークランド	PAL
	ミラノ	PAL	1		コロンボ	PAL		パゴパゴ	NTSC

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE」は、 パソコンでRAW画像の展開ができます。付属のCD-ROM(S-SW133)からインストールができます。

本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム 環境が必要です。

Windows

OS	Windows 8 (32bit / 64bit) / Windows 7 (32bit / 64bit) / Windows Vista (32bit / 64bit) / Windows XP (SP3以降、Home / Pro 32bit) • インストールには管理者権限が必要 • 64bit OS上では、32bitアプリケーションとして 動作可能
CPU	Intel Pentium互換プロセッサ(Pentium 4/ Athlon XP以上推奨) • マルチコア(Intel Core i7, i5/Core 2 Quad, Duo/AMD Phenom II X6, X4/Athlon II X4, X2 等)対応
メモリ	1GB以上(2GB以上推奨)
HDD	プログラムのインストール、起動時:100MB以 上の空き容量 画像ファイル保存:1ファイルあたり10MB程度
モニター	1024×768ドット、24bitフルカラー以上
その他	キーボード、マウス等の入力デバイス

Macintosh

OS	Mac OS X 10.8 / 10.7 / 10.6 / 10.5
CPU	Intelプロセッサ対応/Power PC
メモリ	1GB以上(2GB以上推奨)
HDD	プログラムのインストール、起動時:100MB以 上の空き容量 画像ファイル保存:1ファイルあたり10MB程度
モニター	1024×768 ドット、24bitフルカラー以上
その他	キーボード、マウス等の入力デバイス

◎メモ

 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、 QuickTimeが必要です。QuickTimeは下記アドレスからダウ ンロードできます。

http://www.apple.com/jp/quicktime/download/



記号	
◘メニュー	15
,≌×=⊐	17
►×=	17
↓ ×ニュー	18
C×=⊐	20
3人物	29
▲風景	29
₩マクロ	29
篆動体	29
22夜景人物	29
≝夕景	29
≤青空	29
₩フォレスト	29
■夜景	29
編夜景HDR	29
まままでは、またまます。 ままままます。 まままままます。 まままままままます。 まままままままま	29
🚵 テーブルフォト	29
Ψ (料理	29
1.ペット	30
€キッズ	30
�サーフ&スノー	30
◙逆光シルエット	30
答キャンドルライト	30
▮ステージライト	30
童 美術館	30
≌ モード	32
数字	
1画像表示11,	28
1コマ撮影	38

Α	
ACアダプター	23
AEロック	62
AF	36
AF/MF設定	15
AFエリア	37
AF時のフォーカスリング	~ ~
	36
AF作動	62
AFの動作	36
AF フレーム	28
AF / 刀 、	30
AF補助ルノノノ	. 1
	20
Auto110モード(スマート	- <u>2</u> 0
	48
AUTO∓−ド	27
AV機器	54
Avモード	31
B	20
DU Bulh	30
Duib	52
С	
CMOSセンサー	. 7
D	
DCカプラー DPOF	23 68

MSC 75
Mモード 31
Ν
NDフィルター 16,72
P PC/AV 端子 54 PTP 75 P時の電子ダイヤル 63 P モード 31
Q QuickTime 83
R RAW
RGBヒストグラム表示 12
S SCN
TAv モード 31 Tv モード 31

C 75	
三一ド 31	
フィルター 16, 72	
AV 端子 54 2	
ckTime 83	
W43 W追加保存16 W展開60 Bヒストグラム表示12	
モード 31	

U

USB	55
USB接続	75, 83
USER	48, 64

W

Windows..... 83

あ

29
57
45
ブ)
46
43
19
48
92

い

色空間 20), 66
色抽出(デジタルフィル	
ター) 47	7, 57
印刷情報	. 68
インターバル撮影	. 42
インターバル動画	. 42
インデックス	. 58

え

エコモード	19
エラーメッセージ	76

お オートパワーオフ..... 25

オートフォーカス	36
音声	32
か	
	-
カートアクセスラフフ	/
	7
回転	53
回転情報の記録	53
ガイドナンバー	35
ガイド表示	28
外部接続 18	, 54
顔検出(AF方式)	36
拡大	28
画質	43
カスタムイメージ	46
カスタムメニュー	20
画像什上	46
画像の自動回転	53
画像モ ^ー ター	9
国家 C二 /	18
画曲玖// 咸皮	33
	55
き	
_ キッズ ♪	30
輝度ヒストグラム	12
₩能制限	69
は米シニナットの	30
ビルンルエシト凶 キャンドルライト※	20
ヤャントルノイト 谷	აი

記録形式...... 43

記録サイズ 43

記録設定...... 43

銀残し (カスタハイメージ)

クイック拡大	17 64 28 62 62 16 57 47 47 46
エフェクト)	48
け 言語設定	25 64 60
高感度NR	34 35) 48 13
さ サーフ&スノー ● 再生情報表示選択 再生エード 再生モードパレット さくらほのか(スマートコ フェクト)	30 11 17 28 50 48

撮影	27
撮影可能枚数	81
撮影情報表示選択	11
撮影待機状態	10
撮影日別表示	52
撮影メニュー	15
撮影モード	29
三脚ねじ穴	. 7

シーンモード...... 29 シェーディング(デジタル フィルター)..... 47.57 絞り優先自動露出...... 31 シャッター&絞り優先自動 シャッター優先自動露出 シャドー補正 45 充電中のレリーズ...... 35.39 詳細情報表示......12 詳細設定メニュー......18 初期設定......25 白とび警告 16.17 人物 3 29 人物(カスタムイメージ)

す ズームレンズ..... 28

6 付

録

水彩画(スマートエフェク
ト) 48 水彩画(デジタルフィル
ター) 47, 57
ステージライト 🗈 30
スピーカー 7
スポット(AF方式) 36
スポット測光34
スマートエフェクト 49
スマートエフェクト登録
スライドショウ 53
スリム(デジタルフィル
ター) 47, 57
せ 接続ケーブルカバー 7, 23 セルフタイマー撮影 40 セルフタイマーランプ 7 セレクト(AF方式) 36 全画像消去 17 選択消去 51
そ 測距点と露出の関連付 34 測光方式 34
外付けフラッシュ
ソフト(デジタルフィル
ター) 57
ソリッドモノカラー(ス
マートエフェクト)
マートエフェクト) 48 ソリッドモノカラー(デジ

た
ダイナミックレンジ 45
ダイヤル指標 27
ダイレクトキー 13
多重露出
ダストリムーバル
多点オート (AF方式) 36
端子カバー
-
5
中央重点測光 34
ר
・ 注尾 (AE 古式) 36
道尾 (AI)]式)
τ
テーブルフォト 🙈 29
ディストーション補正 16
デジタルフィルター 47,57
デッサン(デジタルフィル
ター)
電源
電子音 18
電子シャッター 72
電子水準器 10, 16
٤
トイカメラ(デジタルフィ
ルター) 47, 57
動画編集 59
動画メニュー17
動画モード 32
回梱品0
動作環境 83
動体系29

都市名 ドライブモード	. 25, 82
ドラマチックアート マートエフェクト)… ドラマチックアート タルフィルター) トリミング	(ス
な 内蔵フラッシュ ナイトスナップ 1 ナチュラル(カスタ』 メージ) 夏時間	34 29 ムイ 46 26, 64
に 日時設定	26
ね ネガポジ反転(デジ フィルター)	タル . 47, 57
の ノイズリダクション.	34
は バージョン情報 ハードモノクローム マートエフェクト) ハイコントラスト(ルフィルター) 配色 ハイライト補正 ウ熱灯下のAWP	19 (ス
パソコン	55

バッテリー	. 22
バッテリーカバー	7
バッファ RAW保存	. 28
バルブ撮影	. 32
ъ	
ピクセルマッピング	. 76
被写界深度	. 32
美術館 血	. 30
ヒストグラム表示 12	2, 16
日付印刷	. 68
ビデオ出力	. 54
ビデオ端子	. 54
	. 36
ビントリンク	. 37
3	
ファームウェア	. 19
ファイル No	. 66
フィッシュアイ(デジタ	ΙL
フィルター) 47	57
フィルター 47	, 57
風景▲	. 29
風景(カスタムイメージ) 46
フォーカスアシスト	. 38
フォーカスモード	. 36
フォーカス優先	. 20
フォーマット	. 26
フォルダー新規作成	. 66
フォルダー表示	. 52
フォルダー名	. 66
フォレスト 🎬	. 29
複数画像表示	. 51
複数画像表示選択	. 51
付属ソフトウェア	. 83

 ブラケット撮影順	41 , 74 35 44 35 18 68 43 , 62 31 65 34 . 51
ヘ ベースメイク(デジタル フィルター) ペット↓	57 30
ほ ボケコントロールモード	20
保護 ポスタリゼーション(デ タルフィルター) 47 ホットシュー ポップチューン(カスタ」	30 65 ジ , 57 7 ム
1 メーン)	46 ジ)

ホワイトバランス...... 43

ま マイク7 マウント指標7,21 マクロペ29 マニュアルWB登録44 マニュアルフォーカス37 マニュアルホワイトバラン ス44 マニュアル露出31
か ミニチュア(デジタルフィ ルター)57 雅(MIYABI)(カスタムイ メージ)46
む 無線LAN67
め メニュー
も モードダイヤル
や 夜景 4

ゆ ユーザー登録6 夕景 盗
5 ライブビュー 10, 16
り リサイズ
れ レトロ(デジタルフィル ター)

レンズシャッターの動作 ア2 レンズ焦点距離 73 レンズ情報接点 73 レンズ情報接点 73 レンズ間的外しボタン 21 連続再生 53 連続撮影 53 連続撮影 66

録音レベル 17

録画可能時間...... 32

3

露出設定 17,	32
露出バー	31
露出ブラケット	41
露出補正	31
露出モード	31
わ ワールドタイム	64

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷 害を受ける可能性があることを示すマークです。



このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷また は中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性がある ことを示すマークです。

本体について

▲ 警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないてください。感電の危険があります。
 セロをじの強いとに向けての侵険があります。
 - 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で 直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災 の原因になる場合があります。
 - レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
 - 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、 すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダブターを取り外した上、 弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使 用すると、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。
 やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。

- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、ロに入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる ことがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診 察を受けてください。



\land 警告

- バッテリー充電器とACアダブターは、必ず専用品を指定の電源・電圧 でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・ 電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定 電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、 すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談 ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火 災の原因となります。

⚠ 注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、 触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC68Pで充電式リチウムイオンバッテリーD-LI68 以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電し ようとすると、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

⚠ 警告

 バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こ すらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてく ださい。

⚠ 注意

- 本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッ テリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やか にバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意し てください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発 や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす おそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 - 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 - 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 - 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

▲ 警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
- 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
- 2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
- バッテリーや SD メモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むお それがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師 にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しております ワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- ・長時間使用しなかったときや、大切な撮影(結婚式、旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体(SDメモリーカード)などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることが あります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が 流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC68P専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますの でカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、
 車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0~40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これ は液晶の性質によるもので、故障ではありません。

- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カ メラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り 出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- ・破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほごりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- CMOS センサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センター または、お客様窓口にご用命ください。(有料)
- 高性能を保つため、1~2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお 勧めします。

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多 湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しの よい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での 使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

 SDメモリーカードには、ライト プロテクトスイッチが付いてい ます。スイッチをLOCK側に切 り替えると、新たにデータを記 録できなくなり、カメラやパソ コンで削除やフォーマットがで きなくなります。



- カメラを使用した直後にSDメ モリーカードを取り出すと、 カードが熱くなっている場合が あります。
- SD メモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を 切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、 水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合が ありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社 では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 - 1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 - 2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 - 3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 - SD メモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテ リーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなる ことがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアッ プを取るようにしてください。
- SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用した SD メモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、デー 夕を再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体 を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを 使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めし ます。
- SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

Eye-Fiカードについて

- 本機は無線LAN機能を内蔵したSDメモリーカード「Eye-Fiカード」が 使用できます。
- 無線LANで画像を転送するには、アクセスポイントの利用とインターネット環境が必要です。詳しくは、Eye-Fiのホームページを参照してください。(http://www.eyefi.co.jp)
- ・ Eye-Fiカードは、最新のファームウェアに更新して使用してください。
- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、 Eye-Fiカードを使用しないか、「Eye-Fi」の設定を「オフ」にしてくだ さい。
- Eye-Fiカードの使用が認められているのは、カードをご購入された国の みです。使用する国の法律を遵守してください。
- このカメラには Eye-Fi カードの通信機能をオン/オフする機能があり ますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するものではありません。
- Eye-Fiカードの使用方法は、Eye-Fiカードの使用説明書を参照してください。
- Eye-Fiカードに関する不具合等は、カードの製造元へお問い合わせください。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国 およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国およびその他の国で登録され たApple Inc.の商標です。

Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

Eye-Fi、Eye-Fi *connected*、およびEye-FiロゴはEye-Fi,Inc.の登録商標です。

この製品はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の許可のもと、DNG技術を取り入れています。

DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国および その他の国々におけるHDMIライセンシングの商標または登録商標です。 SILKYPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。 その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。 本製品はPRINT Image Matching III に対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理 において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能 です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一 部機能が反映されません。

PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。











AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の 行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます)
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVC ビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から 入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。 http://www.mpegla.comをご参照ください。

アフターサービスについて

- 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料 修理いたしますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお 急ぎの場合は、当社のサービス窓口にはお持ちください。 修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっ かり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご 利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメ モを添付していただけると原因分析に役立ちます。
- 2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。 保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の 運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
- 3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - 使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等)により 生じた故障

- 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
- 火災・天災・地変等による故障
- 保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等)や手入れの不備(本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等)による故障
- ・ 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
- お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
- 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
- 5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安 に保有しております。従って本期間中は原則として修理を お受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能の 場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせく ださい。
- 6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。 国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]
- 7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

フォトスクール・写真クラブのご案内

http://pentaxplus.jp/family/

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方 に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真 年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特 典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、

ホームページをご覧いただくか、ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

TEL 03-3580-2060 FAX 03-3580-2065

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル 営業時間 9:00~17:00(土・日・祝日、弊社休業日を除く)

ペンタックスホームページアドレス

本製品に関するお問い合わせ

お客様相談センター

TEL 03-4330-0008 (代) ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。 営業時間 9:00~17:30(平日) 10:00~17:00(十・日・祝日)(年末年始、ビル点検日を除く)

修理に関するお問い合わせ

東京サービスセンター

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 営業時間 9:00~17:30(土・日・祝日、弊社休業日を除く)

大阪サービスセンター

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階 営業時間 9:00~17:00(土・日・祝日、弊社休業日を除く)

ショールーム・ギャラリー・修理受付

ペンタックスフォーラム

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB(中地下1階) 営業時間 10:30~18:30(毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く)

ペンタックスリコーイメージング株式会社 〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。 53671

http://www.pentax.jp/japan/support/repair.html

TEL 03-3960-5140 (代) FAX 03-3960-5147

TEL 06-6271-7996 (代) FAX 06-6271-3612

TEL 03-3348-2941 (代) FAX 03-3345-8076

http://www.pentax.ip/iapan/support/

ナビダイヤル 0570-001313

(市内通話料金でご利用いただけます。)





http://www.pentax.ip/